

# 官報

號外

昭和四年三月十五日 金曜日

內閣印刷局

## 第五十六回 帝國議會 衆議院議事速記錄第三十二號

昭和四年三月十四日(木曜日)午後一時三十分開議

議事日程 第三十一號

昭和四年三月十四日

午後一時開議

- 第一 (第一號) 昭和四年度歲入歲出總豫算追加案
- 第二 (特第一號) 昭和四年度特別會計歲入歲出豫算追加案
- 第三 日本興業銀行法中改正法律案 (政府提出)
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第七 大禮記念堂室博物館復興贊會事業費ノ補助ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第九 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 大正十三年法律第二十四號中改正法律案(警澤品等ノ輸入稅ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會
- 第十一 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十二 造船局特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

- 第十四 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十六 特許法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十七 實用新案法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十八 意匠法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十九 商標法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十 勞働者災害扶助法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十一 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十二 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特別ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十三 肥料管理法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十四 肥料管理特別會計法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十五 酒造組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十六 資源調查法案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十七 陪審法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十八 船舶職員法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

- 第二十九 無線電信法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三十 衆議院議員選舉法中改正法律案(一見其郷君外一名提出) 第一讀會
- 第三十一 家祿賞典祿給與未濟ニ關スル法律案(石井次郎君外五名提出) 第一讀會
- 第三十二 質屋取締法中改正法律案(鬼丸義齋君提出) 第一讀會
- 第三十三 古物商取締法中改正法律案(鬼丸義齋君提出) 第一讀會
- 第三十四 刑法中改正法律案(牧野賤男君外二名提出) 第一讀會
- 第三十五 借家法中改正法律案(小久江美代吉君外二名提出) 第一讀會
- 第三十六 恩給法中改正法律案(山下谷次君外一名提出) 第一讀會
- 第三十七 道路法中改正法律案(菅野善右衛門君提出) 第一讀會
- 第三十八 町村有建物火災保險相互組合法案(岩崎一高君外十六名提出) 第一讀會
- 第三十九 遠洋漁業獎勵法中改正法律案(原耕君提出) 第一讀會
- 第四十 違警罪即決例中改正法律案(一松定吉君外二名提出) 第一讀會
- 第四十一 工場法中改正法律案(千葉三郎君外五名提出) 第一讀會
- 第四十二 勞働組合法案(鈴木文治君提出) 第一讀會
- 第四十三 刑ノ執行又ハ拘留ニ因ル補償ニ關スル法律案(宮古啓三郎君外九名提出) 第一讀會
- 第四十四 陪審法中改正法律案(橫山勝太郎君外三名提出) 第一讀會
- 第四十五 衆議院議員選舉法中改正法律案(小久江美代吉君外四名提出) 第一讀會

- 第四十六 衆議院議員黨籍變更ニ關スル法律案(小久江美代吉君外四名提出) 第一讀會
- 第四十七 牧野法案(中島鵬六君外一名提出) 第一讀會
- 第四十八 健康保險法中改正法律案(西尾末廣君提出) 第一讀會
- 第四十九 國定教科書官給法案(樋口秀雄君外六名提出) 第一讀會
- 第五十 耕地整理法中改正法律案(三輪市太郎君外十二名提出) 第一讀會
- 第五十一 農會法中改正法律案(三輪市太郎君外十二名提出) 第一讀會
- 第五十二 行政執行法中改正法律案(一松定吉君外四名提出) 第一讀會
- 第五十三 膠州灣舊租借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案(小谷節夫君外三名提出) 第一讀會
- 第五十四 辯護士法中改正法律案(岡本實太郎君外六名提出) 第一讀會
- 第五十五 司法代書人法中改正法律案(坂本志魯雄君外三名提出) 第一讀會
- 第五十六 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(星島二郎君外六名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五十七 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(田中養達君外六名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五十八 樺太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル法律案(沖島錄三君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五十九 樺太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル法律案(小池仁郎君外五名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○副議長(清瀨一郎君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
京都帝國大學ニ小兒保健衛生研究所設置ニ關スル建議案

提出者

磯部 清吉君 鈴木吉之助君  
淺石 惠八君 倉元 要一君  
水島彦一郎君

宮崎縣五箇瀬川改修ニ關スル建議案

提出者 矢野 力治君

宮崎縣美々津漁港修築ニ關スル建議案

提出者 矢野 力治君

宮崎縣島野浦漁港修築ニ關スル建議案

提出者 矢野 力治君

宮崎縣市振漁港修築ニ關スル建議案

提出者 矢野 力治君

宮崎縣福良漁港修築ニ關スル建議案

提出者 矢野 力治君

外客誘致ニ關スル建議案

提出者 矢野 力治君

野田 俊作君 今井 健彦君  
石坂 豐一君 崎山 武夫君

耶馬溪ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

提出者 久恒 貞雄君 成清 信愛君  
平賀 周君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

人造絹糸ト天然絹糸ニ關スル再質問主意書

提出者 山邊 常重君

(以上三月十三日提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一昨十三日常任委員補選ノ結果左ノ如シ

第二部選出 本田英作君 (作田高太郎君補闕)

懲罰委員

川島正次郎君 (立川太郎君補闕)

第六部選出

懲罰委員 西村茂生君 (森田政義君補闕)

一昨十三日理事補選ノ結果左ノ如シ

豫算委員

坂東幸太郎君 (理事一宮房治郎君二月二十八日委員辭任ニ付其ノ補闕)

船舶職員法中改正法律案(政府提出)外一件委員

理事 小山倉之助君 (理事福田五郎君今十三日委員辭任ニ付其ノ補闕)

一昨十三日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

衆議院議員選舉法中改正法律案委員

粕谷 義三君 秦 豊助君  
藤沼 庄平君 能谷 直太君  
松實喜代太君 加藤 知正君  
井上 孝哉君 森田 政義君  
青木雷三郎君 名川 侃市君  
中谷 貞頼君 野田 俊作君  
三浦 數平君 齊藤 隆夫君  
高木 正年君 鈴木富士彌君  
原 夫次郎君 栗山 博君  
戶澤民十郎君 工藤 鐵男君  
深水 清君 勝田 永吉君  
作田高太郎君 奥村 千藏君  
龜井貫一郎君 藏園三四郎君  
沼田嘉一郎君

製鹽地整理ニ關スル法律案委員

吉木 陽君 青山 憲三君  
竹内 鳳吉君 岩川 與助君  
櫻井兵五郎君 高島 兵吉君  
岡本賢太郎君 中村 繼男君  
堤 清六君

一昨十三日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

船舶職員法中改正法律案外一件委員

辭任齋藤 巖君 補闕木村 清治君

辭任福田 五郎君 補闕小山倉之助君  
肥料管理法外一件委員

辭任矢野 力治君 補闕蔭山 貞吉君

○副議長(清瀨一郎君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

一昨十三日田元衆議院議長ハ病氣ノ故ヲ以テ副議長宛議長辭任ノ申出ガアリマス

シタ、仍テ副議長ハ内閣總理大臣ヲ經テ此旨ヲ奏上致シマシタノデアリマス、辭任ハ閣總理大臣ヨリ副議長宛田議長ノ辭任ハ「願ニ依リ衆議院議長ヲ免ス」トノ通牒ニ接シマシタ、仍テ是ヨリ議長候補者ノ選舉ヲ行ハナケレバナリマセヌ、此際便宜ノ爲メ暫時休憩致シマス

午後一時三十七分休憩

午後三時三十七分開議

○副議長(清瀨一郎君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、是ヨリ議長候補者ノ選舉ヲ行ヒマス

議長候補者ノ選舉

○副議長(清瀨一郎君) 選舉ニ先立ッテ一言申上ゲマス、此選舉ノ手續ハ總テ先例ニ依リマス、尙ホ念ノ爲メ申上ゲマスレバ、衆議院規則第四條ニ依リマス、投票ハ無名投票デアリマス、サウシテ候補者三名ヲ連記致スコトニ相成テ居リマス、諸君ノ御手許ニ配付シテアリマス所ノ投票用紙ニ、候補者ノ氏名ヲ連記サレマシテ、木札ノ名刺ヲ添ヘテ御持參ヲ願ヒマス、是ヨリ點呼ヲ命ジマス

〔書記官氏名ヲ點呼ス〕

○副議長(清瀨一郎君) 投票漏ハアリマセヌカ、投票漏ハアリマセヌカ、投票漏ナシト認メマス、投票漏閉鎖——開匣

〔書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス〕

○副議長(清瀨一郎君) 御報告申上ゲマス、投票總數ハ四百六デアリマス、名刺ノ數モ四百六デアリマス、即チ符合致シテ居リマス、本投票ノ過半數ハ二百四デアリマス——是ヨリ投票ノ點檢ヲ命ジマス

〔書記官投票ヲ讀ム〕

○副議長(清瀨一郎君) 床次竹太郎ト記載シタル投票ガ一票アリマス、是ハ先例モアルコトデアリマスカラ、議長ニ於テハ床次

竹二郎君ノ投票トシテ有効ト認メマス、次ニ堀切善次郎ト記載シタル投票ガ一票アリマス、此分ハ院議ニ諮リマス、之ヲ堀切善兵衛君ノ投票トシテ有効ト認ムルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メマス、有效ト致シマス

〔書記官投票ヲ讀ム〕

○副議長(清瀨一郎君) 選舉ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

〔中村書記官朗讀〕

二百三十八點 川原 茂輔君

二百二十九點 小泉又次郎君

二百二十二點 横山金太郎君

百二十點 則元 由庸君

四十七點 堀切善兵衛君

三十六點 若宮 貞夫君

三十二點 中西六三郎君

三十點 鈴木 文治君

二點 太田信治郎君

二點 高田 耘平君

二點 河野 正義君

一點 石塚 三郎君

一點 床次竹二郎君

一點 田邊 熊一君

一點 長島 隆二君

一點 小寺 謙吉君

一點 寺田 市正君

一點 沼田嘉一郎君

一點 小川郷太郎君

○副議長(清瀨一郎君) 衆議院規則第七條ニ依リマシテ、川原茂輔君ガ議長候補者ニ當選セラレマシタ(拍手起ル)

〔參照〕

議長候補者選舉投票者氏名左ノ如シ

石射文五郎君 石坂 養平君

石坂 豐一君 岩崎 一高君

岩本 武助君 岩川 與助君

磯部 向君 磯部 清吉君

磯野 康幸君 伊藤仁太郎君

伊坂秀五郎君 伊原五郎兵衛君

井口延次郎君 井出繁三郎君 池田 龜治君 飯村 五郎君 板谷 順助君 原 惣兵衛君 泰 豐助君 八田 宗吉君 英 義彦君 西岡竹次郎君 西村 茂生君 星島 二郎君 富田 八郎君 大澤寅次郎君 大崎 清作君 小野寺 章君 岡田伊太郎君 若宮 貞夫君 加藤 知正君 加藤 五郎君 川島正次郎君 河上 哲太君 柏谷 義三君 金光 庸夫君 龜割 安藏君 吉津 度君 吉木 陽君 横山 泰造君 高橋金山治郎君 高山 長幸君 田邊 七六君 竹内友治郎君 竹下 文隆君 胎中楠右衛門君 丹下茂十郎君 多田 勇雄君 中村 亨君 中島 守利君 中川原貞機君 中谷 貞頼君 中山 貞雄君 名川 侃市君 永田 良吉君	井上 孝哉君 池内 廣正君 今井 健彦君 生田 和平君 出井 兵吉君 鳩山 一郎君 濱田 國松君 著本 大吉君 林 路一君 西方 利馬君 堀切善兵衛君 土井 權大君 豐田 收君 大口 喜六君 小川 平吉君 岡田 忠彦君 沖島 謙三君 渡邊 德助君 加藤久米四郎君 川口 義久君 川原 茂輔君 蔭山 貞吉君 上條 信君 金澤安之助君 菅野善右衛門君 吉植庄一郎君 横堀治三郎君 高橋 光威君 高橋熊次郎君 田邊 熊一君 田子 一民君 竹内 鳳吉君 立川 太郎君 武田德三郎君 玉野 知義君 津雲 國利君 中村 龜君 中島 鵬六君 中橋德五郎君 中野 猛雄君 鳴海文四郎君 成清 信愛君 向井 俊雄君	武藤 七郎君 内野辰次郎君 上塚 司君 野田 俊作君 熊谷 直太君 久原房之助君 郡谷照一郎君 工藤十三雄君 山本 唯次君 山本 慎平君 山口 義一君 山口恒太郎君 山崎達之輔君 矢野 鉦吉君 矢野 力治君 松本 君平君 松村 光三君 松岡 俊三君 松田 三德君 松野 三郎君 牧野 賤男君 前田 米藏君 藤沼 庄平君 福井 甚三君 小谷 節夫君 兒玉 右二君 青木 精一君 安藤 正純君 秋田 清君 東 武君 佐々木長治君 佐藤安之助君 坂本志魯雄君 齋藤藤四郎君 木本主一郎君 宮古啓三郎君 宮脇 長吉君 三輪市太郎君 三浦 數平君 水島彦一郎君 島田 俊雄君 庄司 良朗君 清水 銀藏君 志賀和多利君	内田 信也君 上埜安太郎君 植原悦二郎君 熊谷 巖君 久山 知之君 國枝捨次郎君 倉元 要一君 葛原 猪平君 山本悌二郎君 山本榮太郎君 山口忠五郎君 山崎 猛君 山下 谷次君 矢野 晋也君 安原仁兵衛君 松本孫右衛門君 松浦五兵衛君 松野 鶴平君 松實喜代太君 牧野 良三君 栢谷 音三君 藤井 達也君 二神 駿吉君 木暮武太夫君 青木雷三郎君 青山 憲三君 赤尾藤吉郎君 有馬 秀雄君 佐々木久二君 佐々木平次郎君 佐竹直太郎君 坂井 大輔君 木村 清治君 岸田 正記君 宮澤 裕君 宮川 一貫君 三土 忠造君 三井 德實君 水久保甚作君 嶋居 哲君 庄 晋太郎君 篠原 和市君 平賀 閑君	平井信四郎君 廣岡守一郎君 匹田 銳吉君 久恒 貞雄君 森 恪君 森田 政義君 望月 圭介君 鈴木 隆君 鈴木 巖君 菅原 傳君 須之内品吉君 井上 剛一君 飯塚 知信君 池田 敬八君 伊禮 肇君 原 夫次郎君 林 平馬君 坂東幸太郎君 西村丹治郎君 戶井 嘉作君 戶澤民十郎君 小野 重行君 小峰 滿男君 小山倉之助君 大野 敬吉君 岡本實太郎君 奧山 龜藏君 川崎安之助君 河西豐太郎君 神田 正雄君 加藤 鯛一君 横山金太郎君 高木 正年君 高田 耘平君 田中 万逸君 田中 養達君 武内 作平君 頼母木桂吉君 俵 孫一君 土屋清三郎君 中村 鐵男君 中崎 俊秀君 永田善三郎君	平出喜三郎君 廣瀬 爲久君 肥田 琢司君 森 龜起君 森 正則君 森本 千吉君 鈴木 英雄君 鈴木 五六君 鈴木 安孝君 砂田 重政君 井本 常作君 石塚 三郎君 飯塚春太郎君 一宮房治郎君 原 脩次郎君 濱口 雄幸君 西脇 晋君 本田 恒之君 戶田 由美君 富田幸次郎君 小俣 政一君 小久江美代吉君 小川郷太郎君 大西 正幹君 岡本 幹輔君 長内 則昭君 川崎 克君 勝田 永吉君 神部 爲藏君 横山勝太郎君 高木益太郎君 高橋元四郎君 高島 兵吉君 田中千代松君 田中 隆三君 武富 濟君 谷口源一郎君 添田敬一郎君 堤 康次郎君 中村啓次郎君 中野 正剛君 永井柳太郎君	村上 國吉君 鶴澤 宇八君 内々崎作三郎君 野田文一郎君 野村 嘉六君 栗原彦三郎君 黒金 泰義君 山田 道兒君 山邊 常重君 八木 逸郎君 松田 源治君 松本 忠雄君 前田房之助君 牧山 耕藏君 町田 忠治君 藤田 若水君 深水 清君 小山 谷藏君 小坂 順造君 小池 仁郎君 海老澤爲次郎君 田 昌君 安達 謙藏君 佐藤 正君 佐藤 啓君 櫻内 辰郎君 櫻井兵五郎君 齋藤太兵衛君 作田高太郎君 木村 秀興君 三宅 磐君 清水留三郎君 斯波 貞吉君 重松 重治君 平川松太郎君 廣瀬 徳藏君 森田 茂君 栗山 博君 鈴木富士彌君 菅原 英伍君 杉浦 武雄君 岩切 重雄君	紫安新九郎君 海野 數馬君 臼田 久内君 野中 徹也君 則元 由庸君 工藤 鐵男君 山田 又司君 山田 毅一君 山道 襄一君 山本 厚三君 松田竹千代君 松尾 四郎君 松村 謙三君 栢谷 寅吉君 増田 義一君 藤澤幾之輔君 降旗元太郎君 小山 松壽君 小泉又次郎君 小橋 一太君 木槍三四郎君 寺島 權藏君 安倍邦太郎君 淺川 浩君 佐藤 與一君 佐竹 庄七君 櫻内 幸雄君 齋藤 隆夫君 柵瀬軍之佐君 澤本 與一君 岸 衛君 三浦 虎雄君 清水德太郎君 下元鹿之助君 定塚門次郎君 一松 定吉君 比佐 昌平君 森保 祐昌君 瀬川 光行君 鈴木憲太郎君 菅村 太事君 末松偕一郎君 原田 十衛君
---	--	--	---	--	--	--	---

千葉 三郎君 大竹 貫一君  
 大田信治郎君 奥村 千藏君  
 鬼丸 義齋君 河上丈太郎君  
 河崎助太郎君 龜井貫一郎君  
 田崎 信藏君 田中 善立君  
 檀野 禮助君 鶴見 祐輔君  
 堤 清六君 武藤 山治君  
 久野 尊資君 藤原 米造君  
 小泉策太郎君 小山邦太郎君  
 小寺 謙吉君 河野 正義君  
 安部 磯雄君 淺原 健三君  
 水谷長三郎君 椎尾 辨匡君  
 守屋 榮夫君 鈴木 文治君  
 井坂 豐光君 原 耕君  
 花城 永渡君 本多貞次郎君  
 床次竹二郎君 東郷 實君  
 沼田嘉一郎君 大内 暢三君  
 小野 寅吉君 高島 順作君  
 瀧 正雄君 津崎 尚武君  
 長島 隆二君 熊谷五右衛門君  
 藏園三四郎君 眞鍋 勝君  
 二見 甚郷君 寺田 市正君  
 崎山 武夫君 岸本 康通君  
 志村清右衛門君 志波安一郎君  
 森 肇君 清瀨 一郎君

○副議長(清瀨一郎君) 只今御報告申シマシタ通り、選舉ヲ必要ト致シマスル三名ノ候補者中、他ノ二名ハ得票過半数ニ達セラレタ者ガアリマセヌ、仍テ茲ニ衆議院規則第八條ニ依リマシテ決選投票ヲ行ハネバナリマセヌ、決選投票ハ小泉又次郎君、横山金太郎君、則元由庸君、堀切善兵衛君、此四名ノ中デ二名ダケヲ記載シテ、木札ノ名刺ト共ニ御持參アラントヲ望ミマス

〔此時演壇ノ左右ニ左ノ掲テヲ爲セリ〕  
 決選投票者氏名  
 小泉又次郎君 横山金太郎君  
 則元 由庸君 堀切善兵衛君  
 ○副議長(清瀨一郎君) 是ヨリ點呼ヲ命ジマス

〔書記官氏名ヲ點呼ス〕  
 ○副議長(清瀨一郎君) 投票漏ハアリマセヌカ—投票漏ナシト認メマス—投票漏

閉鎖—開匣  
 〔書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス〕  
 ○副議長(清瀨一郎君) 投票總數ハ三百九十五デアリマス、名刺ノ數モ亦三百九十五デアリマシテ、雙方符合致シテ居リマス、是ヨリ投票ノ點檢ヲ命ジマス

〔書記官投票ヲ讀上ク〕  
 ○副議長(清瀨一郎君) 決選投票ノ氏名ノ中ニ入ラザル人ノ名前ヲ書イタ投票ガ此處ニ八票アリマス、是ハ決選投票ニ入ラザル人ノ名前ハ抹消シ、其他ノ名前ヲ有效トシテ取扱ヒマス、尚ホ此處ニ投票用紙ノ背面ニ氏名ヲ記載シタモノガアリマス、是モ有效ト致シマス、唯此處ニ決選投票ニ入ラザル氏名ノミヲ書イタモノガアリマスカラ、是ハ無効ト致シマス、尚ホ此處ニ議員ノ氏名デナクシテ、文章ヲ書イタモノガアリマス、是ハ無論無効ト致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
 〔書記官投票ノ讀上ヲ繼續ス〕  
 ○副議長(清瀨一郎君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致ワセマス  
 〔中村書記官長朗讀〕  
 〔拍手起ル〕  
 二百三十六點 堀切善兵衛君  
 百六十四點 小泉又次郎君  
 十四點 横山金太郎君  
 十二點 則元 由庸君

〔拍手起ル〕  
 ○副議長(清瀨一郎君) 即チ決選投票ノ結果ニ依リマシテ、堀切善兵衛君、小泉又次郎君ノ御兩君ガ議長候補者ニ當選セラレマシタ(拍手起ル)  
 (參照)  
 議長候補者選舉決選投票者氏名左ノ如シ

石射文五郎君 石坂 養平君  
 石坂 豐一君 岩崎 一高君  
 岩本 武助君 岩川 與助君  
 磯部 尚君 磯部 清吉君  
 磯野 庸幸君 伊藤仁太郎君  
 伊坂秀五郎君 伊原五郎兵衛君  
 井口延次郎君 井上 孝哉君  
 井出繁三郎君 池内 廣正君

池田 龜治君 今井 健彦君  
 飯村 五郎君 生田 和平君  
 板谷 順助君 出井 兵吉君  
 原 惣兵衛君 鳩山 一郎君  
 泰 豐助君 濱田 國松君  
 八田 宗吉君 箸本 太吉君  
 英 義彦君 林 路一君  
 西岡竹次郎君 西方 利馬君  
 西村 茂生君 堀切善兵衛君  
 星島 二郎君 土井 權大君  
 富田 八郎君 豊田 收君  
 大澤寅次郎君 大口 喜六君  
 大崎 清作君 小川 平吉君  
 小野寺 章君 岡田 忠彦君  
 岡田伊太郎君 岡田 謙三君  
 若宮 貞夫君 沖島 謙三君  
 加藤 知正君 渡邊 徳助君  
 加藤謙五郎君 加藤久米四郎君  
 川島正次郎君 川口 義久君  
 河上 哲太郎君 川原 茂輔君  
 粕谷 義三君 蔭山 貞吉君  
 金光 庸夫君 上條 信君  
 龜割 安藏君 金澤安之助君  
 吉津 度君 菅野善右衛門君  
 吉木 陽君 吉植庄一郎君  
 横山 泰造君 横堀治三郎君  
 高橋金治郎君 高橋 光威君  
 高山 長幸君 高橋熊次郎君  
 田邊 七六君 田邊 熊一君  
 竹内友治郎君 竹内 鳳吉君  
 竹下 文隆君 立川 太郎君  
 胎中楠右衛門君 武田徳三郎君  
 丹下茂十郎君 玉野 知義君  
 多田 勇雄君 津雲 國利君  
 中村 亨君 中村 崑君  
 中島 鵬六君 中川原貞機君  
 中橋徳五郎君 中谷 貞頼君  
 中野 猛雄君 中山 貞雄君  
 鳴海文四郎君 名川 侃市君  
 成清 信愛君 永田 良吉君  
 向井 倭雄君 武藤 七郎君  
 内田 信也君 内野辰次郎君  
 上埜安太郎君 上塚 司君

植原悦二郎君 野田 俊策君  
 熊谷 巖君 熊谷 直太君  
 久山 知之君 久原房之助君  
 國枝捨次郎君 郡谷照一郎君  
 倉元 要一君 工藤十三雄君  
 葛原 猪平君 山本 唯次君  
 山本悌二郎君 山本 慎平君  
 山本条太郎君 山口 義一君  
 山口忠五郎君 山口恒太郎君  
 山崎 猛君 山崎達之輔君  
 山下 谷次君 矢野 晋也君  
 山崎 力治君 安原仁兵衛君  
 松本 君平君 松本孫右衛門君  
 松村 光三君 松浦五兵衛君  
 松岡 俊三君 松野 鶴平君  
 松田 三徳君 松實喜代太君  
 牧野 賤男君 牧野 良三君  
 前田 米藏君 前田 音三君  
 藤沼 庄平君 藤井 達也君  
 福井 甚三君 二神 駿吉君  
 小谷 節夫君 木暮武太夫君  
 兒玉 右二君 青木雷三郎君  
 青木 精一君 青山 憲三君  
 安藤 正純君 赤尾藤吉郎君  
 秋田 清君 有馬 秀雄君  
 東 武君 佐々木久二君  
 佐々木長治君 佐々木平次郎君  
 佐藤安之助君 佐竹直太郎君  
 坂本志魯雄君 坂井 大輔君  
 齋藤藤四郎君 木村 清治君  
 木本主一郎君 岸田 正記君  
 宮古啓三郎君 宮澤 裕君  
 宮脇 長吉君 宮川 一貫君  
 三輪市太郎君 三土 忠造君  
 三浦 數平君 三井 徳實君  
 水島彦一郎君 水久保甚作君  
 島田 俊雄君 嶋居 哲君  
 庄司 良朗君 庄 晋太郎君  
 清水 銀藏君 藤原 和市君  
 志賀和多利君 平賀 周君  
 平井信四郎君 平出喜三郎君  
 廣岡宇一郎君 廣瀨 爲久君  
 冢田 鏡吉君 肥田 琢司君

〔書記官投票ヲ讀上ク〕  
 ○副議長(清瀨一郎君) 決選投票ノ氏名ノ中ニ入ラザル人ノ名前ヲ書イタ投票ガ此處ニ八票アリマス、是ハ決選投票ニ入ラザル人ノ名前ハ抹消シ、其他ノ名前ヲ有效トシテ取扱ヒマス、尚ホ此處ニ投票用紙ノ背面ニ氏名ヲ記載シタモノガアリマス、是モ有效ト致シマス、唯此處ニ決選投票ニ入ラザル氏名ノミヲ書イタモノガアリマスカラ、是ハ無論無効ト致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
 〔書記官投票ノ讀上ヲ繼續ス〕  
 ○副議長(清瀨一郎君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致ワセマス  
 〔中村書記官長朗讀〕  
 〔拍手起ル〕  
 二百三十六點 堀切善兵衛君  
 百六十四點 小泉又次郎君  
 十四點 横山金太郎君  
 十二點 則元 由庸君

- 久恒 貞雄君
- 森 恪君
- 森田 政義君
- 望月 圭介君
- 鈴木 隆君
- 鈴木 巖君
- 菅原 傳君
- 須之内品吉君
- 井上 剛一君
- 飯塚 知信君
- 池田 敬八君
- 伊禮 肇君
- 原 夫次郎君
- 林 平馬君
- 坂東幸太郎君
- 西村丹治郎君
- 戶井 嘉作君
- 戶澤民十郎君
- 小野 重行君
- 小峰 滿男君
- 小川郷太郎君
- 岡本實太郎君
- 奥山 龜藏君
- 川崎安之助君
- 河西豐太郎君
- 神田 正雄君
- 加藤 鯛一君
- 横山金太郎君
- 高木 正年君
- 高田 耘平君
- 田中 万逸君
- 田中 養達君
- 武内 作平君
- 頼母木桂吉君
- 俵 孫一君
- 土屋清三郎君
- 中村 繼男君
- 中島彌團次君
- 永田善三郎君
- 村上 國吉君
- 鷗澤 宇八君
- 内々崎作三郎君
- 野田文一郎君
- 森 正則君
- 森本 千吉君
- 鈴木 英雄君
- 鈴木 五六君
- 鈴木 安孝君
- 砂田 重政君
- 井本 常作君
- 石塚 三郎君
- 飯塚春太郎君
- 一宮房治郎君
- 原 脩次郎君
- 濱口 雄幸君
- 西脇 晉君
- 本田 恒之君
- 戶田 由美君
- 富田幸次郎君
- 小俣 政一君
- 小山倉之助君
- 大西 正幹君
- 岡本 幹輔君
- 長内 則昭君
- 川崎 克君
- 勝田 永吉君
- 神部 爲藏君
- 横山勝太郎君
- 高木益太郎君
- 高橋元四郎君
- 高島 兵吉君
- 田中千代松君
- 田中 隆三君
- 武富 濟君
- 谷口源十郎君
- 添田敬一郎君
- 堤 康次郎君
- 中村啓次郎君
- 中崎 俊秀君
- 永井柳太郎君
- 紫安新九郎君
- 海野 數馬君
- 白田 久内君
- 野中 徹也君
- 野村 嘉六君
- 栗原彦三郎君
- 黒金 泰義君
- 山田 道兄君
- 山邊 常重君
- 山崎傳之助君
- 八木 逸郎君
- 松田 源治君
- 松本 忠雄君
- 前田房之助君
- 牧山 耕藏君
- 町田 忠治君
- 藤田 若水君
- 小泉 松壽君
- 小泉 次郎君
- 小橋 一太郎君
- 木橋三四郎君
- 寺島 權藏君
- 安倍邦太郎君
- 淺川 浩君
- 佐藤 與一君
- 佐藤 庄七君
- 櫻内 幸雄君
- 齋藤 隆夫君
- 柵瀬軍之佐君
- 木村 秀興君
- 岸 衛君
- 三木 武吉君
- 清水留三郎君
- 斯波 貞吉君
- 重松 重治君
- 平川松太郎君
- 廣瀬 徳藏君
- 森田 茂君
- 栗山 博君
- 鈴木富士彌君
- 菅原 英伍君
- 杉浦 武雄君
- 西尾 末廣君
- 奥村 千藏君
- 河上丈太郎君
- 龜井貫一郎君
- 田中 善立君
- 則元 由庸君
- 工藤 鐵男君
- 山田 又司君
- 山田 毅一君
- 山道 襄一君
- 山本 厚三君
- 松田竹千代君
- 松尾 四郎君
- 松村 謙三君
- 枘谷 寅吉君
- 増田 義一君
- 藤澤鏡之輔君
- 深水 清君
- 小山 谷藏君
- 小坂 順造君
- 小池 仁郎君
- 海老澤爲次郎君
- 田 昌君
- 安達 謙藏君
- 佐藤 正君
- 佐藤 啓君
- 櫻内 辰郎君
- 櫻井兵五郎君
- 齋藤太兵衛君
- 澤本 與一君
- 木村小左衛門君
- 三宅 磐君
- 三浦 虎雄君
- 清水徳太郎君
- 下元鹿之助君
- 定塚門次郎君
- 一松 定吉君
- 比佐 昌平君
- 森保 祐昌君
- 瀬川 光行君
- 鈴木憲太郎君
- 菅村 太事君
- 末松借一郎君
- 千葉 三郎君
- 鬼丸 義齋君
- 河崎助太郎君
- 田崎 信藏君
- 檀野 禮助君

- 鶴見 祐輔君
- 武藤 山治君
- 藤原 米造君
- 安部 磯雄君
- 水谷長三郎君
- 鈴木 文治君
- 原 耕君
- 本多貞次郎君
- 東郷 實君
- 大内 暢三君
- 高島 順作君
- 津崎 尙武君
- 熊谷五右衛門君
- 眞鍋 勝君
- 寺田 市正君
- 岸本 康通君
- 志波安一郎君
- 清瀨 一郎君
- 堤 清六君
- 久野 尊資君
- 小山邦太郎君
- 淺原 健三君
- 椎尾 辨匡君
- 井坂 豊光君
- 花城 永渡君
- 床次竹二郎君
- 沼田嘉一郎君
- 小野 寅吉君
- 瀧 正雄君
- 長島 隆二君
- 藏園三四郎君
- 二見 甚郷君
- 崎山 武夫君
- 志村清右衛門君
- 森 肇君

候此段及報告候也  
昭和四年三月十三日  
委員長 堀切善兵衛  
衆議院議長 元田肇殿

第二(特第一號)昭和四年度特別會計歲入歲出豫算追加案  
報告書

(特第一號)昭和四年度特別會計歲入歲出豫算追加案  
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也  
昭和四年三月十三日  
委員長 堀切善兵衛  
衆議院議長 元田肇殿

○堀切善兵衛君 只今議題トナテ居リマスル兩案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過並結果ニ付キ御報告申上ゲマス、先ヅ右兩案ノ極ク簡單ナル説明ヲ致シマスレバ、東京帝國博物館ハ大正十二年ノ大震災ノ厄ニ罹リタル儘、今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、然ルニ茲ニ今上陛下御即位ノ御大禮ヲ記念シ奉ル爲メ、大禮記念帝室博物館復興贊會ガ組織セラレマシテ、之ヲ以テ帝室ノ文化的事業ヲ翼賛シ奉ル計畫ガ出來タノデアリマス、其經費ハ約八百五十萬圓ヲ以テ、帝室博物館ヲ復興シテ、之ヲ帝室ニ獻上スル計畫デアリマス、内五百萬圓ハ之ヲ全國有志者ノ寄附ニ俟チ、三百五十萬圓ハ之ヲ政府ノ補助ニ依ラントスルノデアリマス、最モ時宜ニ適シタル計畫ト認メ、又民間ノ寄附ハ確實ノ見込デアリマスカラ、前記ノ金額ヲ昭和四年度追加豫算トシテ要求シタノデアリマス、是レ即チ追加豫算案第一號デアリマス、右追第一號ノ財源ハ、之ヲ造幣局資金ニ屬シテ居リマス現金ヲ以テ充當スルコト、致シマシタノデ、之ガ爲メ右資金ヲ一般會計ニ繰入ノ爲ニ、造幣局特別會計ニ於テ、歳出ノ追加豫算ヲ要スルノデアリマス、是レ即チ特第一號追加豫算案デアリマス、豫算委員會ニ於キマシテハ、大藏大臣ノ説明ヲ聴取致シマシタル後、兩案ハ極メテ時宜ニ適シタルモノト認メ、全會一致

第一(第一號)昭和四年度歲入歲出總豫算追加案  
報告書

(第一號)昭和四年度歲入歲出總豫算追加案  
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也  
昭和四年三月十三日  
委員長 堀切善兵衛  
衆議院議長 元田肇殿

○副議長(清瀨一郎君) 是ニテ議長候補者ノ選舉ハ終了致シタノデアリマス、只今當選セラレマシタ議長候補者三名ハ、副議長ヨリ直ニ奏上ノ手續ヲ執リマス

(定數ガナイト呼フ者アリ)

○副議長(清瀨一郎君) 定足數ハアリマス、原夫次郎君ヨリ議事進行ニ關スル發言ノ通告ガアリマス、原夫次郎君、居ラレマセヌカ、サウスレバ取消ト認メマシテ、日程第一及第二ニ進ミマス、日程第一及第二ハ豫算案デアリマスカラ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メマス、日程第一、昭和四年度歲入歲出總豫算追加案、第一號、日程第二、昭和四年度特別會計歲入歲出豫算追加案、特第一號、之ヲ一括シテ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長堀切善兵衛君

ヲ以テ之ヲ可決致シテ次第アリマス、何卒本會議ニ於キマシテモ、全會一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ希望スル次第デアリマス(拍手)

○副議長(清瀨一郎君) 他ニ討論ノ通告モアリマセズ、兩案ノ採決ヲ致シマス、委員長報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス(贊成者 起立)

○副議長(清瀨一郎君) 起立多數ト認メマス、兩案ハ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)

○原惣兵衛君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第十四、米穀需給調節特別會計法中改正法律案、及日程第十五、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉、此兩案ヲ繰上ダテ議題トシ、逐次其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセスカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、日程第十四、米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——三土大藏大臣

第十四 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

米穀需給調節特別會計法中改正法律案 第二條中「億圓」ヲ「二億七千萬圓」ニ改メ

附則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣(三土忠遠君)登壇〕

○國務大臣(三土忠遠君) 只今議題ニ供セラレマシタル米穀需給調節特別會計法ノ改正ニ關スル法律案ノ御説明ヲ致シマス、米穀法ハ大正十年四月初メテ制定實施セラレマシテ、大正十四年三月改正ヲ加ヘラレタリデアリマスルガ、政府ハ此法律ノ運用ニ依リ米穀ノ需給、及米價ノ調節ニ銳意努力致シテ參、結果、我國ノ米價ハ其施行前ニ

比ベマスルト、著シク平準ヲ得ルニ至リ、相當顯著ナル效果ヲ擧ゲ得タノデアリマスルケレドモ、一方米穀法ノ運用ニ付キマシテハ、相當多額ノ資金ヲ要シマスル爲ニ、現在ニ於キマシテハ、米穀需給調節特別會計ノ資金ニ餘裕ガ少クナリマシテ、到底十分ニ米穀法ヲ運用シ、其實力ヲ發揮スルコトガ出來ナイヤウニナリテ居ルノデアリマス、我ガ農村ノ現狀ニ鑑ミ、右特別會計ノ資力ヲ此儘ニ致シテ置キマスルコトハ出來ナイノデアリマスルカラ、此際取敢ズ米穀需給調節特別會計法ヲ改正致シマシテ、借入金ノ限度ヲ七千万圓増加シ、米穀法ノ運用ニ支障ナカラシメントスル次第デアリマス、米穀法ニ付キマシテハ、其制定以來我國ノ米穀ノ實狀ニ幾多ノ變遷ヲ來シテ居リマスルガ故ニ、今日ニ於テハ米穀政策ノ根本ニ遡リ、更ニ十分ナル調査研究ノ必要ガアルノデアリマス、尙ホ米穀需給調節事業ノ經費ニ關シマシテモ、現在ノ特別會計ノ制度ニ付テ、根本的ニ調査研究ヲ致ス必要ガアリマスルノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ別ニ調査會ヲ設置シ、審議ヲ遂ゲル計畫デアリマシテ、其所要經費ハ追加豫算トシテ不日提案スル積リデアリマス、故ニ今回提案シタル七千万圓ノ運用資金増額ハ、其根本方針ヲ確定スル迄ノ應急手段デアリマシテ、政府ハ十分ニ根本方針ヲ研究致ス積リデアリマス、右ノ次第デアリマスカラ、本案ニ對シ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○副議長(清瀨一郎君) 本案ニ關シ質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス、田中隆三君

〔田中隆三君登壇〕

○田中隆三君 成ベク簡單ニ私ノ御尋致シマス要領ヲ申上ゲマス、皆様モ御承知ノ通り此米穀法ト云フモノハ、大正十年ニ米ノ需要供給ヲ調節スル、而モ米ノ數量ノ調節ヲ圖ルト云フ目的ヲ制定ニナリタリデアリマス、而シテ其法律ノ由テ起リマシタ源ハ、此處ニシテナリ大部ノ書冊ガゴザイマスガ、大正八年ニ臨時財政經濟調査會ト云フ

モノヲ政府デ御設ケニナリタ、其會長ハ原總理大臣ガ會長デ在ラセラレテ、當時副會長ニハ高橋大藏大臣ト、山本農商務大臣ガナラレテ、政友會ノ御方モ多數其委員ニナラレテ居ルガアッタノデアリマス、只今御説明ノ任ニ當ラレマシタ三土君モ其委員ノ一人デ在ラセラレマシタ、其時ノ諮問案ニ、既ニ我國ノ米ガ是迄國產トシテ現レマシタモノト、國民ガ之ヲ實際ニ消費スルモノト比ベテ見ルト云フト、始終五六百万石ノ不足ガ年々生ジタ、不足額ガアルニモ拘ラズ、偶ニ三年目カ、四年目ニハ豐作ガアリマスト云フト非常ニ暴落ヲ來シ、全體ヲ通ジテ平均スルト、只今申上ゲマス通り四百五十万石、或ハ場合ニ依テハ六百五十万石ノ不足ガアリマスガ、或ル年、或ル時期ニハ剩ルコトガアル、剩ルト云フト忽チ其價格ガ暴落ヲスル、他ノ品物デアリマスレバ、品物ガ多ク出來レバ之ヲ世界中何處ヘデモ持ッテ行ッテ賣捌ク途ガアリマススケレドモ、米ニ限リテ日本内地ニ於テ日本人ガ使フ外、世界ニ用ノ無イモノナンデアル、幾ラカアリマススケレドモ、ソレハ外國ニ出掛ケテ居リマス日本人ガ矢張使フノデ、兎ニモ角ニモ日本人以外ハ此米ト云フモノニハ寄リ附カナイノデス、ソコデ洵ニ困ニ關係ニアル、併ナガラ全體ヲ通ジテ、只今申上ゲマス如ク不足デアルト云フトハ、數字上明瞭デアリマスカラ、其偶、剩リタ時ニ政府ガ之ヲ買上ダテ積ンデ置イテ、直グ翌年カラ不定ガアルノデアリマスカラ、其方ニ補充スレバ農家全般モソレガ爲ニ非常ニ恩澤ヲ受クルノデアリマスシ、國民モ暴騰スルト云フヤウナ災難ニ遭ハズニ濟ムト云フ、洵ニ結構ゾクメノコトデ、此法案ガ出來タ、而モ剩リタ時ニハ安クナリ、足ラナイ時ニハ高クナルト云フノガ自然ノ原則デアリマスカラ、政府モ此法案ニ依テ儲ケルノガ目的デアリマスケレドモ、確ニ儲ケナクとも損スルコトガナイト云フ保證附デ、朝野ノ經驗ノアル方ニヲ集メラレマシテ、非常ナル綿密ナル調査ヲシタ、其綿密ナル調査ノ結果ハ、矢張總理大臣ノ諮問案

ニ書イテアルコト、大體ニ於テ一致致シマテ、日本ノ人ガ是迄使テ居リマスル米ハ一人當リ一石八升バカリニナリ、一斗ニナリマセズ、無論ハ食ベルバカリデハアリマセズ、御菓子ノ爲ニモ使ヒマスルシ、酒ノ爲ニモ潰ス、ソレ等ヲ皆合セマシテ一石八升バカリニナル、其一石八升ト云フモノヲ、是カラ先キ段々日本ノ人口モ殖エテ參リマスルト、ソレカラ生活ガ段々向上シテ米ヲ食ベル人モアリマセウ、ソレヤ是ヤデ、多少一人當リノ消費額ガ殖エテ來ルト云フヤウナ傾ガアルト云フト計算ニ入レマシテ、調査會デ決メマシタ高ハ一石一斗九升、少々多イト思ヒマスケレドモ、一石一斗九升位ヲ見込シテ、將來ノ人口ノ増殖、生活ノ向上等ニ充テルヤウニシテ、一體ノ政治ノ方向ヲ定メテ行キマスト安心ダト云フト、結局サウ云フ結論ニナリタノデアリマス、之ヲ縮メテ申シマスレバ、是マデノ現在ニ於ケル不足額ガ只今申上ゲマス通り、大體五百五十万石、五百八十万石バカリハ其當時ニ於テ不足デアリマシタ、其不足ノ米ヲ生産スル爲ニ、ドウシテモ今日ノ耕地ヲ三十餘万町歩増サナケレバ、現在ノ不足ヲ補フコトガ出來ナイ、ソレカラ只今申上ゲマス通り、將來ノ問題ニナリマスルト、中ニシテ行カヌ、年々人口ノ殖エルダケデモ六十万、七十方ト云フ風ニ殖エテ參リマス、ソレカラ生活ノ向上ト云フヤウナコトハ中ニ容易ニ捉ヘルコトハ出來マセウケレドモ、全體ノ國民ノ消費スル數量カラ割出シテ見マスルト、中ニ是モ馬鹿ニ出來ヌ、ドウシテモ是等ノ不足ヲ十分ニ、安心ガ行クダケニ供給ヲスルノニハ、種々ノ施設ヲ要スル、一面ニ於テハ盛ニ開墾ノ獎勵ヲシナケレバナラヌ、殊ニ北海道ノ如キ未開墾地ノ多イ所ニ向テハ、十分ノ力ヲ注ガナケレバナラズ、又朝鮮、臺灣ノ如キニ於テハ、大ニ有望ナル情勢ニアルカラシテ、是等ノ地方ニ向テ大ニ力ヲ盡シテ、何處マデモ此米產額ト云フモノヲ増サナケレバナラヌト云フ、

其時ノ結論ニ到著シタノデアリマス、サウシテ中ノ其時ノ調査ガ綿密デ、將來三十年間ノ先ヅ茲ニ計畫ヲ立テ、見ヤウト云フノデ、二十年間ニドレダケヲ要ルカト云フト、九千五百五十六万石ヲ要スルト云フトコトニナツタノデアリマス、九千五百万石カラコトニ生産スルヤウ云フ、我國ノ農地ヲ開發シナケレバナラヌト云フノガ結論デアッタ、其目的デ此米穀法案ヲ議會ニ提出サレタ、諸君ノ御協賛ニ依テ通過シタノデアリ、是ガ前段デアッタノデアリマス、ソコデ私ハ御當局ノ方ニ、農林省ノ御方ノ所管デアラウト思ヒマシマス、私ハ御尋シタイ、サウ云フ趣意デ此米穀法案ト云フモノハ生レタ、所ガ其後ノ實勢ハドウデアッタカト申シマス、米ガ不足ダト云フヤウナコトハ頓ト起ラズ、何時デモダブツイテ、價格ガ安クテ困ルカラ買上ダテ吳レト云フヤウナ苦情ガ度々出テ參リマスケレドモ、米ガ足りナイト云フ問題ハ殆ド起ラナカッタノデアリマス、私ガ大體ドヴ云フ譯デ起ラナカッタノカト色、書類ニ當テ見マス、一番目立テ違テ居リマス、スコトハ、朝鮮カラ入ル米デアリマス、米穀法案ヲ拵ヘマス時ニハ、是ハ精々百五十万石乃至二百五十万石ト云フ豫定デアリマシタガ、今日ニ於テハ三百五十万石トナリ、五百五十万石トナリマセウ、全ク豫想ヲ裏切ッタノデアリマス、善イコトカ惡イコトカハ別ト致シマシテ、米穀法案ヲ作シタ時ノ算盤ハ之ニ依テ根本的ニ覆サレテ居ルノデアリマス、ソレカラ臺灣モ同ジコトデ、臺灣カラハ七八十万石ト豫想シテ居タモノガ、二百五十万石ト六百六十万石ト云フ風ニ數倍ノモノガドントノ入込ニ來ルヤウニナツタ、政府當局ニ於テハ、是ハ何時ノ政府ト云フ譯デアリマセヌ、皆米穀法案ヲ拵ヘテ以來、農商務省ノ農林省ノ方針トシテハ、矢張前ノ通り米穀ノ產額ヲ増サナケレバナラヌト云フ最初ノ方針ニ基キテ、開墾ヲ獎勵スル、干拓ヲシナケレバナラヌ、埋立ヲシナケレバナラヌ、而モ開墾獎勵ノ如キハ補助金ヲ與ヘテ獎勵サレテ居ル、此事ヲ惡イ

ト云フノデアリマセヌケレドモ、今日ノ如ク米ガ多クナツテ、米ノ洪水ガ起テ安クナルト云フノデ、農民諸君ガ騒イデ居ル時ニ、他ノ一方ニハ米ヲ益多クシナケレバナラヌト云フ施設ヲ、補助金ヲ出シテ獎勵シ、益農家ヲ困ラセルヤウナコトヲシテ居ルノハ、ドウモ政策ノ矛盾ナリハシマイカト云フ懸念ヲ私ハ持テ居リマス、只今ハ米穀法案ノコトニ付キマシテ、大々的ノ調査ヲ御設ケニナツテ、根本的ニ何等カノ方法ヲ立テヤウト云フ御趣旨ノヤウデアリマスカラ、私ガ只今申上ダマシタコトノ如キハ、十分ニ御承知ノコト、思ヒマスケレドモ、念ノ爲ニ只今私ノ申上ダマシタヤウナ、所謂現在ニ於ケル狀況カラ我が國民ノ必需品デアル此米穀ハ、寧ろ米穀法案ヲ作シタ時ニ騒イダヤウナ不足ヲ感ズルコトナク、一生懸命デ費用ヲ使テ獎勵シナケレバナラヌ程ノモノデアリト云フコトハ、御認メニナツテ居ルカドウカラ第一點ニ伺ヒタイ(簡單々々ト呼フ者アリ)モウシシデス、只今ハ米穀法案ノ初メテ出來マシタ數量調節ト云フコトニ付テ御尋デアリマス、此米穀法案ヲ大正十四年ニ至テ更ニ改メラレタル其時ニハ、數量タケノ調節デハイケンイカラシテ、所謂價格ノ調節、相場ノコトモ數量ノ有ル無イノ問題ヲ離レテ、尚ホ如何ナル原因カラ來ルニシテモ、米ガ高過ギルトカ、安過ギルト云フ時ニハ、政府ノ力ヲ以テ其安イ米ヲ上ダ、高イ値段ノ米ヲ下ダルト云フコトニマデ進マナケレバ、米穀法案ノ目的ヲ完全ニ貫クコトガ出來ナイト云フ意味デ、更ニ數量ノ外ニ價格ノ調節ト云フコトニ御改正ニナツタノデアリマス、ソコデ御改正ニナツタ後、其目的ニ向テ實際此法律ヲ運用セラレタ結果ハドウカ、私何テ見タイ、私ノ戴イタ書類ニ依テ見マスルト、本當ニ此價格ノ調節ノ爲ニ米ヲ買上ダラレタノハ、昭和二年ノ九月ト十一月ト十二月、而モ同ジ年ノ間近イ間ニ三度モ續ケテ其調節ヲ圖ラレタト云フコトガ、此法律ノ實際ノ適用デアッタノデアリマス、而シテ其九月ニ於テ此調節ニ掛ケラレタ時ノ様

子ヲ私ガ調べテ見マスルト、愈々此米ヲ九月二百五十万石買入レルト云フコトヲ定メラレテ、愈々之ヲ買ウツトテ發表セラレタ時ハ、石三十五圓デアッタノデアリマス、而モ何月何日カラ買ウツトテ發表セラレテ公ニナツタ時ハ三十五圓デアッタ、ソレヲ愈々今日カラ買入レト云フ時ニハ、三十五圓五十錢デラ買上リマシタ、ケレドモ買入レテ居テ今日五十錢切ルト云フ日カラ三十四圓八十錢ニ下リマシテ、最初發表シタ時ヨリモ値段ガ二十錢モ下リマシテ、ソレカラ後モ段々ニ下ツテ居ル、而モ其時二百五十万石買入ト云フ觸出シヲシタケレドモ、遂ニ買ウコトモ出來ナイデ、僅ニ二十一万石シカ買ハナカッタ、其失敗ニ懲リタカ、不成績ニ恐レタカ、モウ一遍出直シタノハ、其次ノ次ノ十一月デアル、十一月ニハ今度ハ更ニ五十万石買入ハウ、斯ウ云フコトヲ發表シタ時ハ三十一圓三十錢、實行ノ日ハ三十一圓四十錢、十錢バカリ違テ居リマスカ、締切ノ日カラ三十一圓十錢ニ下ツテ、其後三十圓十錢、三十圓六十錢、如何ニモ皮肉ナヤウニ段々下ツテ居リマス、ソレカラ更ニ十二月ニナツテ二百五十万石買入ト云フコトヲ御評議ガ出來テ御買入ニナツタノデアリマス、此時之ヲ最初御發表ノ時ハ三十一圓二十錢、ソレヲ實行ノ日ハ三十一圓三十錢、ソレカラ其後ハ幾分ツ上ツテ居リマス、ソレカ功ト言ヘバ此三回目ノ百万石ト云フ時ニ、聊カ效力ハ現レタヤウデアリマスケレドモ、只今申上ダマシタ通り、第一回、第二回、ソレハ引續イテドウモ思フヤウナ成績ガ茲ニ現レヌヤウニ私ハ思フノデアリマス、而モ段々支人筋ノ話ニ依レバ、政府ガ米ヲ買入レルト云フ時ニハ、多少當業者ノ願ニ何等カノ響ハ與ヘルヤウナコトハ出來マセウケレドモ、買入レタルハ矢張前ノ前ニマラ付イテ居ルノデアリマスカラ、何時デモ此米ハ出シテ矢張市場ニ來テ値段ヲ下ダル、斯ウ云フコトヲ明瞭ニ茲ニ示シテ居ルノデアリマスカラシテ、此買入レタル米ノ前

ナル方ニ調節スル效力ノ無イモノデアリナイカト云フヤウナコトヲ言フ論者ガアルノデアル、私ハ一向其途ニ暗ウゴザイマスカラ分リマセヌガ、兎モ角モ事實ニ於テハ、只今申上ダマシタヤウナ風ニ、第一回モ第二回モ餘リ功績ガナカッタ、第三回目ニ至テ僅ニ效果ガアツタヤウニ思ハレマス、ドウモ此法律ヲ作シタ時ニ御互ガ期待シテ居タヤウナ成績ハ舉ラヌヤウナ氣ガスル、サウシテ見マスルト云フト、此米穀法案ノ生命トモ申スベキ數量ノ調節ニ付テ、根本的事實ノ相違ヲ來シタ、今度ハ價格ノ調節ト云フコトニ付テ、尤モ三回目ノ試ミデアリマスカラ、是カラ度々見ナケレバ分ラヌカモ知レマセヌガ、兎ニモ角ニモ餘リ成績ガ舉ラナイヤウナ感シガ致シマス、ソコデ今度果シテ此調節ニ向ツテ、政府ガ出動セラレルノカドウカ分リマセヌガ、假ニ出動セラレルモノトシテ、私ハ出動セラレルモノト思フ、出動セラレルモノトシテ、茲ニ御尋シテ置キタイコトハ、之ニ依テ現在ノ米價ガ安イカラ、之ヲモト高クスルト云フノガ目的デアリマセウカ、是ヨリハ下ダナイヤウニ、此處デ堤防デ抑ヘテ行カド云フノガ目的デアリマセウカ、其何方デアルカト云フコトヲ、此際承テ置キタイ、ト云フノハ別ニ責任ヲ問フ譯デアリマセヌケレドモ、若モ之ヲ上ダレ爲デアルト云フコトデアルナラバ、之ヲ實行シテ上ラナカッタ時ニハ、多少責任ヲ取テ戴カケレバナラヌ、若モ喰止メルト云フ目的デアリタナラバ、喰止テ初メテ鼻ヲ高クシテ宜シタナラバ、喰止テ事ヲ明ニ伺フコトガ出來マシレバ、吾々モ安心スルコトガ出來ヤウト云フモノハ、正シウスルコトガ出來ヤウト私ハ思フ、(簡單々々ト呼フ者アリ)モウ、此デアリマス、第三ニ御尋シタイコトハ、此米穀法案實施以來、是ハ委員會ニ於テ御配リニナツタ書類デアリマスカ、既ニ缺損トシテ五十六百何十萬圓、約五千七百萬圓ト云フモノハ既ニ缺損勘定ニナツテ居リマス、ソレカラ其缺損勘定ハ唯政府ノ帳面ニ載セタマケノ缺損デ、ソレ以上明瞭ニ缺損シテ居ルコトハ

明デアリマス、ソレハ追書ニモ書イテアリ  
カ四十七万石カ八万石、五十万石近イト思  
ヒマスガ、其御買換ニナリテ時ノ缺損額ガ餘  
程アルノデアリマス、ソレカラ又昨年中倉  
へ仕舞ッテ居ラレル間ニ、色々品々「カスレ」ガ  
アル、取ッテ置キマスト蟲モ附キマシタラウ  
シ、數量モ自然ニ減ルノデアリマス、兎ニ  
モ角ニモ一番大キナコトハ買入レタ時ヨリ  
モ今日ノ價格ハ遙ニ下ッテ居リマス、ソレ  
スカラ其差額モ非常ニ數字ニ上ッテ來ヤウ  
ト思フ、少クとも私ノ想像スル所デハ、七  
千万圓以上ノ缺損ト云フモノガ既ニ生ジテ  
居ルノデアリマス、今迄ニ七千万圓以上ノ  
缺損ト云フモノハ確ニアルト思ヒマスガ、  
政府ノ御勘定デハ幾ラニナリマスカ、之ヲ  
一ツ何ッテ置キタイ(簡單々々)「謹聽」ト呼  
ブ者アリ)而モ私ノ懸念ニ堪ヘマセヌコト  
ハ、既ニ米穀法ノ運用上、政府ガ借入レテ  
居リマス金ハ一億四千万圓アル、其利息  
ダケデモ八百萬圓以上々々拂ハナケレバナ  
ラヌ、毎日二千万圓以上ノ金ヲ、吾々ハ此  
法律ノ爲ニ損ヲシツ、アルノデアリマス、  
只今申上ゲマシタ七千万圓ノ缺損ハ別ニ致  
シマシテ、斯ウ云フコトハ詰ラヌコトデア  
リマセウガ、簡單ナド、云フ言葉モアリマ  
セウケレドモ、其事ヲ御話申上ゲテ居リマ  
ス間ニ、今日只今利息ダケ何千万、何百  
万、何十萬圓ゾ、損ヲシテ居ル、誰ガ何ト  
ノ利率ヲ乗ケテ割出スト、小學校ノ生徒ニ  
モ分ル、兎ニモ角ニモ此缺損額ト云フモノ  
ハ莫大ナモノデアリマス、前カラ繰返シテ  
申上ゲマシタ通り、是ハ別ニ只今ノ當局ガ  
ドウトカ斯ウトカ言フ意味デアリマセ  
又、邁ッテ申シマスルト、私共モ當局ノ片  
端デアッタ、故ニ其責任ヲ感スルノデアリ  
マス、諸君モ之ニ協賛ヲ與ヘタルノデアリ  
スルカラ、諸君ト共ニ矢張責任ヲ分擔シナ  
ケレバナラヌト私ハ思フ、決シテ責任ヲ問  
フトカ何ト云フ、ソナケチナ考デ私ハ  
申上ゲルノデハナイ、政府モ此法律ヲ根本  
的ニ、改メタイト仰シヤルノデアリマスカ

ラ、至極私モ同感デアリマスルケレドモ、  
ソレニ付キマシテモ  
〔此時發言スル者多シ〕  
○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○田中隆三君(續) 吾々ノ考ヘテ居リマスル  
コトヲ已憚ナク申上ゲマシテ、御互ニ此問  
題ヲ十分ニ研究シテ、國家國民ノ爲ニ幸福  
アレカシト思フカラ申上ゲルノデアリ、只  
今大藏大臣ノ御説明中ニモ、運用額ガ少ク  
ナッタカラシテ、此實力ヲ發揮スルニ足ラナ  
イト云フヤウナ御言葉ガアリ、又取敢ズ七  
千万圓ヲ増加シテ應急ノ手段ヲ執ルト云フ  
ヤウナ御言葉モアリ、私ノ心配スルコト  
總テ、玆ニ念ノ爲ニ、最後ニ當局ノ御考ヲ  
伺ッテ置キタイコトガアル、ソレハ所謂大藏  
大臣モ言ハレル通り、只今デハ五千万圓内  
外ノ餘力ガアルノデゴザイマセウ、併ナガ  
ラ一億四千万圓ト云フモノガアリマス  
カラシテ、ソレヲ差引キマシタ二億圓カラ  
ノ餘格ガ五千万圓ハゴザイマセウ、ゴ  
ザイマセウケレドモ、只今モ申上ゲル通り、  
モウ實際今日只今時々刻々拂フベキ利子モ  
アリマスレバ、役人ニ拂ハナケレバナラヌ  
所ノ俸給モアリマセウ、費用モアリマセ  
ウ、連モ此五千万圓ト云フモノハ、本當ノ  
實際ニ此法律ヲ運用スル運用資金ニナリ得  
ナイ、ソレ等は等ヲ見マスルト云フト、約  
三千万圓位ノモノハ、現在ノ金デモ、所謂  
此出動シ得ベキ餘力ト見ルコトガ出來ヤウ  
ト思フ、ソレニ只今ノ七千万圓ヲ加ヘマス  
ルト云フト、一億圓ニ達スル金ハハ出動  
シ得ベキ金、或ハ此米穀法ノ運用ニ向ッテ  
働キテ現ハスコトノ出來ル金ニナラウト思  
フ、ソレデアリマスルカラシテ、今日ノ此  
改正案ト云フモノハ、法律ノ三言ハバ、法  
文第何條ノ二億圓ト云フ文字ヲ二億七千万  
圓トスルト云フコトデアリマスルケレドモ、  
之ヲ政治ノ二、又實際ノ二申シマスレバ、  
玆ニ一億圓ノ働キテ現ハスコトノ出來ル資  
金ヲ備ヘテ、此米穀法ノ運用ヲ試ミヤウ、  
斯ウ云フコトニアラウト思フ、法文ハドウ  
デアラウガ、法文ニ何億ト書イテアッテモ、

其何億ハ損シテ飛ンデシマッテ居レバ、ソレ  
ハ空ノモノデアリマス、兎ニモ角ニモ實際  
ニ玆ニ一億ト云フ金ヲ備ヘテ、一時應急的  
ノ手段ヲシヤウ、一億圓ヲ見セビラカシ  
テ、ソレデ以テ米穀市場ヲ睨付ケルダケデ  
モ、或ハ目的ヲ達スルカモ知レヌ(拍手)更  
ニ進ンデ、所謂米ヲ買入レラレマシテ、サ  
ウシテ値段ヲ引上ゲルル云フヤウナコトモ  
其方法デアアルカモ知レマセス、當局ハ責任  
ヲ以テ爲サレルノデアリマスルカラ、ソナ  
所マデ私ハ彼此申上ゲルノデアリマセ  
又ケレドモ、此目的ハ資金ガ二億何千万ナ  
ケレバナラヌト云フコトガ目的ニハアラズ  
シテ、此七千万圓ト三千万圓ト合シテ一億  
圓ヲ以テ、玆ニ何等カノ應急施設ヲシヤウ  
ト云フノガ、結局現在ニ於ケル此法案提出  
ノ御趣旨デアラウト私ハ思フノデアリマス  
ルケレドモ、其點ヲモウ少シ明ニシテ置イ  
テ戴キタイト云フデ止メ、私ノ最後ノ質問デ  
アリマス、是限リテ止メマスカラ何卒、甚  
ダ失禮致シマシタ(拍手)  
〔國務大臣山本悌二郎君登壇〕  
○國務大臣(山本悌二郎君) 田中君ノ御尋  
ニ御答致シマス、第一ノ御尋ハ米ヲ一面ニ  
於テハ大ニ獎勵ヲ致シテ其產出ヲ増加セシ  
ムルト云フ方針ヲ執ッテ居ルガ是ハ米穀法  
ノ精神ト矛盾スルモノデアリナイカト云フ御  
尋デアッタヤウデアリマス、現在ノ狀況ヲ申  
シマスルト、マダ「米ハ決シテ有リ餘ル  
ドコロデアリナイノデアリマシテ、内地ノ産  
額、朝鮮臺灣ヨリノ移入等ヲ合算致シマシ  
テモ、需要額ニ對シテ尙ホ若干ノ不足ヲ生  
ジテ居ルト云フ状態デアリマス、二百万石  
位ハ矢張外國米ニ不足ヲ補ハナケレバナラ  
ヌト云フヤウナ状態ニ在ルノデアリマシ  
テ、決シテダブツイテハ居ラヌノデアリマ  
ス、然ラバ價格ハドウシテ時ニ依テ下ラス  
ルカト申シマスレバ、ソレハ季節關係デ、  
主トシテ季節關係ニ依テ斯様ニ變調ノ事ガ  
起ルト私共ハ見テ居ルノデアリマスルカ  
ラ、ソレヲ調節スル方法ヲ講ジナケレバナ  
ラヌト思ウテ居ルノデアリマス、此後ノ國  
家ノ政策トシテハ、多々益、産米ノ増加ヲ

獎勵致サナケレバナラヌト思ウテ居リマス  
ルノデ、現ニソレガ今日人口食糧問題委員  
會ノ議題ニモナッテ居ルノハ、田中君モ御承  
知ノ通りデアリマス、私共ハ、國中君モ御承  
知ハ益、人口ノ増加ニ伴フテ産米ノ増殖モ圖ラ  
ナケレバナラナイ、併ナガラ季節的ニ、一  
時ニ米ガ市場ニ現レテ、之ガ爲ニ價格ノ低  
落ヲ來スト云フ其點ニ對シテハ、米穀法並  
ニ其他ノ方法ヲ以テ之ヲ救済スル途ヲ開カ  
ナケレバナラヌト思ウテ居ルノデアリマ  
ス、ソレカラ次ニハ調節ノ效果ガ全カラナ  
カッタデアリナイカト云フ御尋ガアリマシタ  
即チ昭和二年九月、十一月、並昭和三年ノ  
三回ニ互ル所ノ買上ガ效果ガナカッタデハ  
ナイカト云フ御尋デアリマシタガ、當局ト  
致シテハ、是ハ相當ニ效果ガアッタモノト  
信ジテ居リマス、段々ト數字ノ御話モアリマ  
シタガ、之ニ付キマシテハ委員會等ニ於テ  
尙ホ詳シク申述ベル機會モアラウト思ヒマ  
スルガ、大體カラ申シマスレバ、二年ノ豐  
作ノ後ヲ承ケテ、米價ガ非常ニ暴落ヲ來ス  
ベキ形勢ニアッタノヲ、此調節ニ依テ之ヲ  
喰止メルコトガ出來テ、少クとも、激落デ  
ナクテ、漸落ノ形勢ニ導イテ、行クコトガ  
出來タト云フコトハ、此即チ買上調節ノ效  
果ナリト當局ハ信ジテ居ルノデアリマス  
(拍手)固ヨリ米ヲ買上ゲル場合ニ於キマシ  
テ、時價ヲ以テ買ゲルト云フコトガ、米穀  
法ノ命ズル所デアリマスカラシテ、連ニ其  
時ノ時價ト相違シタ高イ値段デ以テ買上ゲ  
ルト云フコトハ、是ハ出來ナイノデアリマ  
ス、隨テ御期待ノ如クニ、安イ其當時ノ米  
ヲ、三圓モ五圓モ連ニ米穀法ノ買上ノ力ニ  
依テ引上ゲルト云フコトハ出來モシナケレ  
バ、又期待スベカラザルコトデアルト云フ  
コトヲ御承知願ヒタイ、ソレカラ次ノ御尋  
ハ、今回若シ此法案ガ通過シテ、此增加資  
金ヲ運用スル場合ニ於テ、買上ヤアルノデ  
アラウガ、其實上ハ、現在ノ米ノ價ノ低  
落ヲ防グト云フ程度ノモノデアルカ、或ハ之  
ヲ引上ゲルト云フ積リデアアルカ、斯様ナ御  
尋デアリマシタガ、固ヨリ米穀法ニ依ル買  
上ハ、米價ノ調節デアリマシテ、安イト見

レバ、之ヲ高クシタイト云フノ精神デア  
リマス、併ナカラソレガ思フヤウニ米穀法  
ノ力並ニ時ノ經濟狀態カヲ致シテ、其通り  
ノ目的ヲ達スルコトガ出来ヌカモ知レマセ  
ヌガ、併ナカラ低劣ヲ防グト云フ消極的ノ  
效果位ハ期待スルコトガ出来ララウ、更  
ニ進メ之ガ相當ノ衝動ヲ市場ニ與ヘテ、  
刺戟ガ相當ニ大キイコトデアリマシタラ  
バ、單リ此消極的ノ、即チ米價ノ低落ヲ防  
グト云フヲ達シテ、或ハ米價ノ騰貴  
ヲ來ス目的ヲ達シ得ルカモ知レヌト思フ  
デアリマス、ソレ等ガ即チ其時ノ經濟事情  
ニ依テ支配サレルノデアリマシテ、今カラ  
シテ之ヲ彼此レト豫斷スルト云フコトハ遠  
慮シタイト思ヒマス、ソレカラ次ニハ損失  
勘定ノ御話ガゴザイマシタガ、此損失ハ今  
一寸數字デ申上ゲマセウ、何レ詳シイコト  
ハ委員會デア申上ゲマセウ、二月末  
日ノ勘定デアリマスルガ、損失金ノ總額ハ  
五千六百三十万三千三百二十二圓二十五錢  
三厘ト云フモノニナツテ居リマス、此損失  
ト云フモノ、内譯ハ、事務費、事業費、營  
繕費、借入金ノ利子、震災ノ損失金、ソレ  
カラ持米ノ累年評價損、斯様ナモノガ皆此  
内ニ籠テ居ルデアリマシテ、是等ヲ綜合  
致シマシテ、大體五千六百萬圓餘ニナツテ居  
ルノデアリマス、ソレカラ次ニハ今回ノ改  
正法ノ趣意ハ暫定的ノモノデアルト思フ  
ガ、サウデアアルカト云フ意味ノ御尋ト承知  
シマスガ、其通りデアルノデス、此米穀法  
ノ改正ノミナラズ、更ニ進メ全體ニ互  
テ、米價ノ調節ト云フモノヲ如何ニスベキ  
ヤト云フ問題ハ、非常ニ重要ナ問題デア  
ルト共ニ、又非常ニ困難ナ問題デアリマス  
ラ、根本的ノ調査ヲ致シテ、速ニ其方法ヲ  
樹テナケレバナラヌト考ヘテ居リマスノ  
デ、ソレハ追加豫算ヲ請求致シマシテ、委  
員會ヲ設ケテ、著々其調査ニ掛リタイ、而  
シテ速ニ成果ヲ得タイト考ヘテ居ル次第デア  
リマスガ、ソレマデノ間ノ暫定的ノ方法  
トシテ、是ダケノ資金ヲ增加シテ此米價ノ  
調節ヲ致シタイ、之ガ即チ本案提出ノ理由  
デアルノデアリマシテ、要スルニ暫定的ノ  
方法ニ過ギナイト云フコトハ田中君ノ御述  
ニナリマシタ通りデアリマス(拍手)

御説明ノ損失勘定ノ五千六百萬何ボト云フ  
コトハ分テ居リマスガ、唯現在持テ居ラ  
レマス米ノ値下リノ損、ソレト昨年十二月  
末ニ五十万石近イ米ノ處分サレタ、其買替  
ノ時ニ缺損ガ相當出タラウト思フノデアリ  
マスガ、其缺損ハ海ニ失禮ナコトカモ知レ  
マセヌガ、買フトカ賣ルトカ云フコトハ、  
所謂政府ノ一種ノ御商賣デアル、然ルニ昨  
年十二月ニ損シタカ、得シタカ、五十万石  
ノ米ヲ賣タタケタ、今日只今マデ損ガ幾ラ  
アルカト云フヤウナ事ノ分ラヌヤウナ  
ガ、私ニ言ハシムレバ、兎角屬僚性ト云  
フモノデアル、ソレデ今日コンナコトヲ伺  
ハヌデ濟ムヤウニト思フテ、政府委員室ニ  
再々出マシテ、大凡デモ宜イカラ調ベテ載  
キタイト言フモノ、調ベテ見ヤウト言フテ、  
到頭最後ニドウモ三月三十一日デナケレバ  
分ラヌカラト言フテ別ケラレタ、ソレハ太  
臣ハ御承知ナイカモ知レマセヌカラ、私ハ  
決シテ責メマセヌ、私モ屬僚ノ辨當ヲ喰  
テ居リマシタガ……

○副議長(清瀨一郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○田中三君(續) 自分ノ商賣ニ何モ關係  
ガナイノデアルカラ……去年ノ十二月ニ何  
百萬圓損シテ居ルカラ、今以テ分ラヌヤウナ  
屬僚達ニ、此米ノ調節、價格ノ調節ヲ圖ル  
ト云フヤウナコトハ、決シテ是ハ出來得ル  
コトデナイト思ヒマス(拍手)故ニ私ノ御尋  
致シタノハ、只今ノ御答以外ノ損失デア  
ルト云フコトト、將來斯ウ云フコトニ向テ  
ハ、ドウゾ部下屬僚二十分ノ御注意アラレ  
ルヤウニ、賢明ナル大臣ニ向テ御願申上  
ゲマス(拍手)

○副議長(清瀨一郎君) 之ヲ以テ質疑ハ終  
リマシタ、日程第十五、右議案ノ審査ヲ付  
託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○田中三君 一寸簡單デスカラ——強イ  
テ何ハナケレバナラヌ事デアリマセヌ  
ガ、念ノ爲ニ私ノ申上ゲタコトガ徹底シナ  
イヤウデアリマスカラ申上ゲタイ、只今ノ

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異  
議アリマセヌカ

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異  
議アリマセヌカ

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○田中三君(清瀨一郎君) 御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異  
議アリマセヌカ

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認  
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ



ル森林アルニ拘ラズ、年々一億方圓ノ外材ヲ輸入シ、正貨ノ流出ヲ見テ居ル如キハ、我國ノ林業ガ經濟的ニ觀察致シテ、合理的ニ組織サレテ居ラナイ結果デアリ、洵ニ遺憾ノコトデアルト考ヘテ居ル、故ニ政府ニ於キマシテハ、森林助成策ヲ執リ、森林金融、森林火災保險等ノ實現ニモ銳意努力スルノ決心デアルトノコトデアリマス、第二、本案ノ實施ニ依テ内地木材ノ騰貴ニ伴ヒ、却テ濫伐ノ弊ヲ惹起セズヤトノ質問ニ對シ、政府ノ答辯ハ價格暴騰ノ際ニモ其傾向アリタルガ、此場合ニ於テハ其跡地ニ適當ノ植林、植樹ヲ爲スガ故ニ其弊害ハ少イケレドモ價格ノ暴落ノ際ニ伐採スルモノハ、跡地ニ適當ナル植林ヲ爲サル傾向アリ、延イテ森林荒廢ヲ來ス虞アリトノ答辯デアリマス、其他國際貿易上ノ關係、金解禁問題、社會政策及木材ノ鐵道運輸關係等ニ互リ精密ナル質問ガアリ、當局ヨリシテ、答辯ガアリマス、之ニ依テ討論ニ入りリマシタガ、委員ノ太田信治郎君ヨリ九太材ト割材トヲ區別シ、割材ニ對シテハ每五立方メートル五圓五十錢、九太材ニ對シテハ每五立方メートル二圓五十五錢ニ修正スベシトノ意見ヲ述ベラレマシタガ、採決ノ結果、少數デアリマス、又委員前田房之助君ヨリ、本家中ノ木材關稅ニ關スル部分ヲ削除スベシトノ修正意見ガ提出サレマシタガ、是モ少數デアリマス、岩本委員ヨリ原案賛成說ガアリ、又岸本委員ヨリ關稅定率法改正法律案中木材關稅ニ關スル點ハ其細目ニ互リ均衡ヲ失スルモノナシトセズ、仍テ政府ハ速ニ調査ヲ遂ゲ之ガ改正案ヲ次ノ通常議會ニ提出スベシトノ附帶決議ヲ附シテ原案ヲ賛成スルトノ意見ヲ述ベ、政府ノ所見ヲ贊シタルニ、政府委員大田大藏政務次官ハ、御希望ニ付テハ篤ト諒承致シマシタ、政府ハ更ニ調査ヲ遂ゲマシテ御趣旨ニ副フヤウニ努メマス、答アリマス、仍テ原案ニ付テ採決ノ結果、四對四デシト同數デアリマシタカラ、委員長ニ於テ原案ニ可決致シマシタ、次デ附帶決議モ右同様デ可決シタル次第デアリマス、大正九年法律第五十三號中改正法律案、關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件ハ、全員一致ヲ以テ可決致シマシタ、次デアリマス、大要右様十次第デアリマス、特ニ此際委員長ト致シマシテ、原案ニ賛成シタル理由ヲ一言

致シマス、前申上ゲタ通り、本案ハ直接國民ノ實際生活ニ關スル問題デアリ、委員諸君ニ於ケレマシテモ、林業保護ガ最も緊要デアルト云フ根本趣旨ニ至ラナイ異論ノナキ所デ、又多數諸君ノ中ニハ山農村ノ出身者ガ多ク、森林ノ現狀ハ十分御承知ノ事ト信ズルノデアリマス、全ク森林ノ荒廢如何ト云フコトハ直ニ國土保安ニ影響シ、氣候風土人情ノ上ニ最も重大ナル關係ヲ有シ、國民ノ堅忍持久ノ勤勉努力、國土愛ト云フヤウナ我國固有ノ醇風美俗ハ、多ク此籌略タル森林ニ依テ培養助長サレテ居ルコト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、其他水源涵養上、或ハ治水、森林ノ各方面ニ及ボス影響ハ洵ニ甚大ナルモノデアリマス、古ノ明君或ハ宰相ハ、深ク意ヲ林政ニ致シマシテ、水ヲ治ムルハ山ヲ治ムルニ如カズト言ハレタコトハ、歴史ノ證明スル所デアリマス、吾人ハ朝鮮ヲ旅行致シマシテ、鐵道沿線ノ山ガ一本一草モ止メズ、荒廢セル山相ヲ望ミシテ居リ、河川ハ涸渴シ、田圃ハ荒廢シテ居ル、此事實ヲ眺メマシテ森林保護ノ必要ヲ痛感シテ居ル次第デアリマス、仍テ林業ノ保護發達ト云フコトハ、國家トシテ深ク留意セザルベカラザル政策ノ一ツデアルト信ジマス、然ルニ近年外國木材ガ殆ド無制限ニ我國内ニ輸入サレ、内地ノ木材ハ非常ナル壓迫ヲ受ケマシテ、價格暴落ノ爲、當業者ノ疲弊困憊ハ勿論、全國領土ノ六割ヲ占ムル所ノ此山林ハ中心トシテ生活スル所ノ山農村一帶ノ佳民ハ、直接生活ノ上ニ非常ナル脅威ヲ感ジテ居ルノ接生活ノ上ニ、此現況ニ鑑ミマシテ、此際適當ナル關稅ヲ賦課スルコトハ、極メテ必要ナル事デアリマス、併ナカラ關稅政策ハ極メテ複雜デアリ、國民生活ニ密接ナル關係ガアリ、常ニ注意ヲ要スルモノデアリマスカラ、此改正案アルカモ尙ホ未ダ十分目的ヲ達シナイ點ガアルカモ分ラナイ、故ニ其細目ニ涉ラテハ權衡ヲ失スルモノガアルカモ分ラナイ、故ニ政府ハ調査ヲ遂ゲマシテ、次ノ議會ニ改正案ヲ提出セラレシコトノ附帶決議ヲ付シタル所以デアリマス、ドウカ滿場ノ諸君ニ於ケレマシテハ、此趣旨ノ下ニ御贊成ヲシテ、特ニ希望スル次第デアリマス(拍手)

○副議長(清瀨一郎君) 本案ニ關シテハ討論ノ通告ガアリマス、是ハ便宜上第二議會ニ於テ許スコト、致シタイノデアリマス、兩案ノ第二議會ヲ開クニ御異議アリマセスカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 異議ナシト認メマス、兩案ハ第二議會ヲ開クニ決シマシタ  
○原憲共衛君 直ニ兩案ノ第二議會ヲ開カレンコトヲ望ミマス  
○副議長(清瀨一郎君) 御異議アリマセスカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ兩案ノ第二議會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス  
關稅定率法中改正法律案 第二議會  
大正九年法律第五十三號中改正法律案  
〔關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件〕  
○副議長(清瀨一郎君) 勝正憲君外二名ヨリ兩案ニ對スル修正案ガ提出サレテ居リマス、此際其趣旨辯明ヲ許シマス——前田房之助君  
關稅定率法中改正法律案ニ對スル修正案  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和四年三月九日  
提出者 勝 正憲  
外二名  
〔別紙〕  
關稅定率法中改正法律案中左ノ通修正ス  
〔第六百一十一號第一項已ヲ左ノ如ク改ム〕  
以下ノ如ク  
大正九年法律第五十三號中改正法律案ニ對スル修正案  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和四年三月九日  
提出者 勝 正憲  
外二名  
〔別紙〕  
大正九年法律第五十三號中改正法律案中左ノ通修正ス  
附則第二項、第三項及別表ヲ削ル  
〔前田房之助君登壇〕  
○前田房之助君 本案ニ對シマシテ修正案ヲ提出致シマス、即チ關稅定率法中改正法律案中左ノ通り修正致シマス、第六百一十二號第一項已ヲ左ノ如ク改ム——以下ノ如ク、大

正九年法律第五十三號中改正法律案中左ノ通り修正ス、附則第二項第三項及別表ヲ削ル、修正案提出ノ趣旨ヲ辯明致シマス、吾人ハ我國林業ノ現狀ヲ鑑ミマシテ、之ニ對シテ保護獎勵ヲ與フル必要ハ切ニ認メテ居ルノデアリマス、併ナカラ今回ノ木材關稅改正ノミニ依リマシテハ、當ニ其目的ヲ達成スルコトガ頗ル困難デアリ、許リテハナク、財界不況ノ今日ニ於キマシテ、木材關稅ヲ引上ゲマスルコトハ、一方ニ於キマシテ消費者デアリマスル全國國民、殊ニ庶民階級ノ負擔ヲ過重ニスル虞ガアリマス、故ニ、吾人ハ斯様ニ修正案ヲ提出致シタリトアリマス、少シク其理由ヲ申述ベテ見タイト存ジマス、山林ノ保護獎勵ノ對策ヲ講ジマスルニハ、先以テ何ガ故ニ現在我國ノ林業者ガ今日疲弊困憊ヲ致シテ居リマスルカト云フ原因ヲ、少シク研究シナケレバナラヌト思フノデアリマス、今日ノ林業者ガ疲弊困憊ヲ致シテ居ル原因ハ、固ヨリ多ク、當時ニ、我が財界ガ未嘗有ノ好況ヲ呈シテ、森林熱ガ非常ニ盛デアタノデアリマス、實際ニ於キマシテ、森林熱ガ盛デアリマスカラ、非常ニ高ク山林ヲ賣買致シタノデアリマス、其後戰後財界ノ不況ニ際シマシテ、農村ニ於テ小作爭議ガ頻發ヲ致シタ、ソコデ地主ガ小作爭議ノ頻發ニ脅ヘマシテ、田地ヲ棄テマシテ森林ヲ買入レ、或ハ森林業ヲ副業トスル者ガ續出シタノデアリマス、然ルニ段々ト財界ガ不況ニシタ結果ト致シマシテ、木材ノ價格モ低落致シマシタ、又一方ニ於キマシテ森林ニ對シマスル金融ノ途ガ殆ド杜絶ヲ致シタノデアリマス、此事柄ガ今日山林業者ガ疲弊困憊ヲ致シテ居リマスル主ナル原因デハナカラウカト思フノデアリマス、而モ政府當局ハ一定ノ林業政策ヲ樹テマシテ、今日林業者ガ困テ居ル所ノ窮狀ヲ救済スル所ノ途ヲ講ジテ居ラヌノミナラズ、却テ林業者ヲ壓迫スルガ如キ方針ガ見エラレタリマス、即チ昭和二年度ニ於キマスル内地材ノ伐採量ハ四千六百七十二萬餘石デアリマス、其中ニ於キマシテ國有林並ニ宮内省管理地ノ伐採總量ハ千七百六十萬石デアリマシテ、内地材伐採量ノ三割六分九厘ニ該當致シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク國有林ヲ多ク伐採サレマシテ、民有林ニ壓迫ヲ加ヘテ居リマスルノミナラズ、

樺太方面ノ山林ヲハ利權者ニ賣渡シマシタ結果ト致シマシテ、樺太方面カラ澤山ニ木ノ內地ニ移リテ、最近ニ於テ此餘弊ニ鑑ミマシテ、政府ハ一定ノ制限ヲ拵ヘラレタヤウデアリマス、免ニ角モ國有林ノ此伐採ト樺太材ノ伐採ハ、内地ニ於キマスル所ノ林業者ヲ非常ニ壓迫ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ動モスレバ米材ガ澤山這入テ來ルカラ、内地材ノ價格ガ低廉ヲ來シテ、内地ノ林業者ヲ壓迫致シタヤウナ説ヲ爲サル、方ガアリマスルケレドモ、今日内地材ノ價格ト申シマスルモノハ、米材ヲ基礎ト致シテ、其上ニ何割ト云フヤウナ價格ヲ付ケテ、内地材ノ價格ガ決定ヲ致シテ居ルノデアリマス、米材ノ輸入ニ依テ内地材ノ價格ガ變動シタヤウニハ、吾々ハ認ムルコトガ出來ナイノデアリマス、殊ニ米材ハ多ク賣テ居ルカラ、如クデアリマス、大正十五年ニ於キマシテハ千六十五万石、昭和二年ニ於キマシテハ千十四万石デアリマシテ、内地ノ國有林ノ伐採量ヨリモ少イノデアリマス、斯様ノ點カラ申シマス、今日内地材ガ下落ヲ致シテ林業者ガ困テ居リマス、原因ハ、米材ノ輸入ニアラズシテ、政府ニ統一シタル所ノ林業政策ガ無イト云フコトガ、寧ろ大ナル原因デハナカラウカト思フノデアリマス

(拍手)更ニ其上ニ於キマシテ、財界ノ不況ト云フコトガ一大原因ヲ作テ居リマス、私ハ敢テ今日財界ノ不況ヲバ政友會諸君ニ責アリトハ申シマセヌ、併ナガラ戦後ノ通ジテ放漫ナル積極政策ガ今日財界不況ノ一大原因ヲ爲シテ居ルト云フコトガ、吾々ハ認メザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)即チ財界不況ノ原因ガ今日山林業者ノ疲弊困憊ヲ致シテ居ル原因デアリト認メマスルナラバ、今日林業者ノ疲弊困憊ニ對シマシテハ、政府當局自カラ責任ヲ持タナケレバナラズト思フノデアリマス(拍手)更ニ一言致シタイノハ、今日林業ノ保護獎勵ト申シマスルモノハ、單ニ木材ノ自給自足ト云フノ經濟上ノ事情バカリデハナイノデアリマス、只今モ委員長ガ説明致シマシタ如ク、水害ノ防止トカ、或ハ水源地ノ涵養、或ハ國土保安ノ上カラ必要デアルノデアリマス、成ベク濫伐ヲ防グト云フコトニシナケレバナラズト思フノデアリマス、其濫伐ヲ防ガナケレバナラズニ拘ラズ、動モスレバ

濫伐ノ弊ヲ助成スルト云フヤウナ遺方ハ吾ハ感心ガ出來ナイノデアリマス、今日山林ハ一度伐採ヲ致シマスルモノ云フト、數十年間掛ラナケレバ一人前ノ木材ニハナリ得ナイノデアリマス、然ルニ木材ノ世界ノ飢饉ト云フモノハ、三、四十年ノ間ニ迫テ居ルノデアリマス

〔此時發言スル者多シ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 矢野君靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 木材ノ世界の飢饉ト申シマスルモノハ、三、四十年間ニ迫テ居ルノデアリマス、我國ト致シマシテハ、出來得ル限り安價ノ木材ヲ外國カラ輸入致シマシテ、内地ノ山林ヲ伐採スルコトヲ當分止メテ、之ヲ休養スル所ノ時機デハナカラウカト思フノデアリマス、殊ニ關稅政策ト致シマシテハ、有ユル産業ニ對シテハ、幼稚ノ時分ニハ國家ノ力ヲ以テ之ヲ保護獎勵スルノガ當然デアリマシテ、是ガ一人前ニ發達ヲ致シタ時ニ於テ、初メテ保護關稅ノ範圍ニ於テ、極メテ輕微ノ保護政策ヲヤルト云フコトガ、關稅政策ノ根本方針デアリマシテ、政府當局モ此主義ハ御認ニナテ居ルノデアリマス、然ルニ何等林業政策モ確定シナイニ拘ラズ、茲ニ國民生活ノ上ニ相當影響ヲ及ボスガ如キ、高率ナル所ノ保護關稅ヲ課セラレルト云フコトハ、洵ニ前後轉倒致シタ遺方ト申サナケレバ相成ラヌノデアリマス(拍手)以上私ハ大體ノ事ヲ申上ゲタノデアリマス、此際政府當局トサレマシテハ、斯様ニ保護關稅ニ依テ庶民階級ヲ苦メルヨリモ、寧ろ林業政策ヲ確定セラレナケレバナラズ、林業政策ニ何ガ必要カト申セバ、先刻モ申上ゲマシタ如ク、我ガ林業者ガ最モ困テ居ルノハ、金融ノ途ガ殆ド杜絶致シテ居ルカラデアリマス、大部分ハ殆ド金ヲ借入レルコトガ出來ナイ、今日勸業銀行ハ此森林ニ對シテ金ヲ融通スル役目ヲ取ルベキデアリマスケレドモ、其實際三分ノ一以内ヨリ貸サナイノデアリマス、ソレモ抵當物件ハ火災ナドノ起ル危險ガアリマス、非常ニ貸借ミヲ致シマシテ、今日勸業銀行ハ僅ニ二百五十万圓シカ全國ニ向テ融通ヲ致シテ居ラズト云フヤウナ状態デアアルノデアリマス、是ニ於テカ

此森林ヲ抵當ニ致シマスニ付キマシテハ、抵當物ヲ確實ニ致シマス意味カラ致シマシテ、森林保險ヲ創定スルニ必要ガアルノデアリマス、勿論株式會社ニ於テ、二三ノ會社ガ森林保險ヲヤテ居リマスケレドモ、是ニハ制限ガアリマシテ、率ガ非常ニ高クテ、殆ド有名無實デアアルノデアリマス、隨テ政府ト致シテ森林保險ヲ創定サレマシテ、擔保物ヲ確實ニシテ、サウシテ長期ニ互ル所ノ低利資金ヲトシ、山林方面ニ御貸シニナルト云フコトガ、今日林業者ヲ救フ上ニ於テ最モ必要ナル遺方ト思フノデアリマス(拍手)斯ノ如ク山林保險ヲ創定シ、更ニ進デ林道ヲ開鑿サレ、更ニ運搬設備ヲ整備サレ、更ニ造林助成法ヲ講セラレテ、此合理ノ林業政策ニ依テ今日ノ窮狀ヲ御救ヒニナルト云フコトガ、最モ必要デアラウト思フノデアリマス、吾々ハ保護關稅ニ依ルヨリモ、先ヅ政府當局ニ向テ、統一セル所ノ林業政策ヲ確立セラレシコトヲ望ンデ已マザル者デアリマス、以上私ハ大體本論ヲ申述ベタノデアリマス、少シク本質ノ欠缺ヲ指摘致シテ見タイト思フノデアリマス、此問題ハ國民ノ生活ニ非常ニ影響スル問題デアリマス、甚ダ御迷惑デアリマスケレドモ、暫クノ間御清聴ノ榮ヲ得タイト思ヒマス、第一ハ木材關稅ノ引上ニ依テ...

〔此時發言スル者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 森保君靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 木材ノ關稅ノ引上ニ依テ、森林ガ濫伐サレル所ノ弊ヲ助長サレル虞ガアラウト思フノデアリマス、政友會ノ御方ハ、關稅ヲ引上ゲタナラバ却テ濫伐シナイト云フコトヲ委員會ニ於テ説カレタノデアリマス、併ナガラ統計ハサウナケレバ、又、統計ニ就テ見マスルト、價格ガ安イ時ニ必シモ濫伐致シテ居ラヌノデアリマス、即チ大正四年ノ木材ノ價格指數ヲ一〇〇トシテ申シマス、大正八年ノ木材ノ價格指數ガ二五七デアリマシテ、其時ニ伐採致シタ所ノ町歩ハ二十四万八百七町歩、又大正九年ハ、指數ガ三八八、其時ノ伐採ハ二十一万六千六百四十九町歩、十年ニハ指數ガ三三三デアリマシテ、其伐採町歩ガ二十二万五千八百六十九町歩、十一年ニハ指數ガ三〇四、二十万三千七百七十二町歩伐

採シテ居リマス、十二年ニハ...  
〔此時發言スル者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 矢野君、ドウカ議席ニ歸テ下サイ、サウシテ成ベク靜肅ニ願ヒマス、森保君モ靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 大正十二年ニハ指數ガ三〇四、十九万六千三百町歩、十三年ニハ指數ガ二七一、是ガ十八万二千五百六十八町歩、十四年ニハ二二七、是ガ十八万九千八百三十七町歩、昭和元年ニハ二〇三、十九万三千二百八十八町歩、統計ガ明ニ示シテ居ルノデアリマス、價格ガ安イカラト云フテ、必シモ濫伐ニ相成テ居ラヌ、ノミナラズ此統計カラ見マスルモノ云フト、價格ガ上ルト云フト却テ濫伐ノ弊ヲ助長致シテ居ルノデアリマス、更ニ又木材ノ關稅ヲ引上ゲタナラバ、濫伐ハスルカモ知レヌケレドモ、植林ガ殖エルト云フコトヲ説ク爲ス者モアルノデアリマス、先般モ委員會ニ於テ三土大藏大臣ハ、自分モ濫伐スル所ノ弊ハ認メヌデハナイ、濫伐ハスルケレドモ、後カラ直ク植林ヲスルカラシテ、森林ニハ好イ結果ヲ來スルコトヲ申シテ居ラヌデアリマス、併ナガラ是亦統計ノ上カラ見マスルト、左様ニハ相成テ居ラヌノデアリマス、ソレヲ申上ゲマスト云フト、木材ノ價格ノ騰貴ハ必シモ植林ヲ促シテ居ラヌト云フトガ、明瞭ニナルノデアリマス、即チ大正四年ノ木材ノ價格指數ヲ一〇〇ト致シ、植林モ同ジク一〇〇ト致シマス、大正五年ニハ指數ガ一一二、ソレノ植林ガ八一、大正六年ニハ指數ガ一四八、植林ガ七一、大正七年ニハ指數ガ一九七、植林ガ六八、大正八年ニハ指數ガ二五七、植林ガ六一、大正九年ニハ指數ガ三三八、植林ガ五二、大正十年ニハ指數ガ三三三、植林ガ五九、十一年ニハ指數ガ三〇四、植林ガ六一、大正十二年ニハ指數ガ二七二、植林ガ六八、大正十三年ニハ指數ガ二二七、植林ガ六四、大正十四年ニハ指數ガ二〇三、植林ガ五九、昭和元年ニハ指數ガ二〇三、植林ガ六二、斯様ニ統計ニ相成テ居ルノデアリマシテ、價格ガ上ラタカラト云フ植林ハ少シモ殖エテ居ラヌノデアリマス、更ニ私ガ申上ゲタイノハ、第三ノ理由トシテ、今日林業ニ從事致シテ居ル者ガ非常ニ多イ、隨テ多少木材ノ價格ハ上ルカモ知レヌケレドモ、林業者ヲ救濟スルト云フコトニナレバ、此

此森林ヲ抵當ニ致シマスニ付キマシテハ、抵當物ヲ確實ニ致シマス意味カラ致シマシテ、森林保險ヲ創定スルニ必要ガアルノデアリマス、勿論株式會社ニ於テ、二三ノ會社ガ森林保險ヲヤテ居リマスケレドモ、是ニハ制限ガアリマシテ、率ガ非常ニ高クテ、殆ド有名無實デアアルノデアリマス、隨テ政府ト致シテ森林保險ヲ創定サレマシテ、擔保物ヲ確實ニシテ、サウシテ長期ニ互ル所ノ低利資金ヲトシ、山林方面ニ御貸シニナルト云フコトガ、今日林業者ヲ救フ上ニ於テ最モ必要ナル遺方ト思フノデアリマス(拍手)斯ノ如ク山林保險ヲ創定シ、更ニ進デ林道ヲ開鑿サレ、更ニ運搬設備ヲ整備サレ、更ニ造林助成法ヲ講セラレテ、此合理ノ林業政策ニ依テ今日ノ窮狀ヲ御救ヒニナルト云フコトガ、最モ必要デアラウト思フノデアリマス、吾々ハ保護關稅ニ依ルヨリモ、先ヅ政府當局ニ向テ、統一セル所ノ林業政策ヲ確立セラレシコトヲ望ンデ已マザル者デアリマス、以上私ハ大體本論ヲ申述ベタノデアリマス、少シク本質ノ欠缺ヲ指摘致シテ見タイト思フノデアリマス、此問題ハ國民ノ生活ニ非常ニ影響スル問題デアリマス、甚ダ御迷惑デアリマスケレドモ、暫クノ間御清聴ノ榮ヲ得タイト思ヒマス、第一ハ木材關稅ノ引上ニ依テ...

〔此時發言スル者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 森保君靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 木材ノ關稅ノ引上ニ依テ、森林ガ濫伐サレル所ノ弊ヲ助長サレル虞ガアラウト思フノデアリマス、政友會ノ御方ハ、關稅ヲ引上ゲタナラバ却テ濫伐シナイト云フコトヲ委員會ニ於テ説カレタノデアリマス、併ナガラ統計ハサウナケレバ、又、統計ニ就テ見マスルト、價格ガ安イ時ニ必シモ濫伐致シテ居ラヌノデアリマス、即チ大正四年ノ木材ノ價格指數ヲ一〇〇トシテ申シマス、大正八年ノ木材ノ價格指數ガ二五七デアリマシテ、其時ニ伐採致シタ所ノ町歩ハ二十四万八百七町歩、又大正九年ハ、指數ガ三八八、其時ノ伐採ハ二十一万六千六百四十九町歩、十年ニハ指數ガ三三三デアリマシテ、其伐採町歩ガ二十二万五千八百六十九町歩、十一年ニハ指數ガ三〇四、二十万三千七百七十二町歩伐

採シテ居リマス、十二年ニハ...  
〔此時發言スル者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 矢野君、ドウカ議席ニ歸テ下サイ、サウシテ成ベク靜肅ニ願ヒマス、森保君モ靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 大正十二年ニハ指數ガ三〇四、十九万六千三百町歩、十三年ニハ指數ガ二七一、是ガ十八万二千五百六十八町歩、十四年ニハ二二七、是ガ十八万九千八百三十七町歩、昭和元年ニハ二〇三、十九万三千二百八十八町歩、統計ガ明ニ示シテ居ルノデアリマス、價格ガ安イカラト云フテ、必シモ濫伐ニ相成テ居ラヌ、ノミナラズ此統計カラ見マスルモノ云フト、價格ガ上ルト云フト却テ濫伐ノ弊ヲ助長致シテ居ルノデアリマス、更ニ又木材ノ關稅ヲ引上ゲタナラバ、濫伐ハスルカモ知レヌケレドモ、植林ガ殖エルト云フコトヲ説ク爲ス者モアルノデアリマス、先般モ委員會ニ於テ三土大藏大臣ハ、自分モ濫伐スル所ノ弊ハ認メヌデハナイ、濫伐ハスルケレドモ、後カラ直ク植林ヲスルカラシテ、森林ニハ好イ結果ヲ來スルコトヲ申シテ居ラヌデアリマス、併ナガラ是亦統計ノ上カラ見マスルト、左様ニハ相成テ居ラヌノデアリマス、ソレヲ申上ゲマスト云フト、木材ノ價格ノ騰貴ハ必シモ植林ヲ促シテ居ラヌト云フトガ、明瞭ニナルノデアリマス、即チ大正四年ノ木材ノ價格指數ヲ一〇〇ト致シ、植林モ同ジク一〇〇ト致シマス、大正五年ニハ指數ガ一一二、ソレノ植林ガ八一、大正六年ニハ指數ガ一四八、植林ガ七一、大正七年ニハ指數ガ一九七、植林ガ六八、大正八年ニハ指數ガ二五七、植林ガ六一、大正九年ニハ指數ガ三三八、植林ガ五二、大正十年ニハ指數ガ三三三、植林ガ五九、十一年ニハ指數ガ三〇四、植林ガ六一、大正十二年ニハ指數ガ二七二、植林ガ六八、大正十三年ニハ指數ガ二二七、植林ガ六四、大正十四年ニハ指數ガ二〇三、植林ガ五九、昭和元年ニハ指數ガ二〇三、植林ガ六二、斯様ニ統計ニ相成テ居ルノデアリマシテ、價格ガ上ラタカラト云フ植林ハ少シモ殖エテ居ラヌノデアリマス、更ニ私ガ申上ゲタイノハ、第三ノ理由トシテ、今日林業ニ從事致シテ居ル者ガ非常ニ多イ、隨テ多少木材ノ價格ハ上ルカモ知レヌケレドモ、林業者ヲ救濟スルト云フコトニナレバ、此

此森林ヲ抵當ニ致シマスニ付キマシテハ、抵當物ヲ確實ニ致シマス意味カラ致シマシテ、森林保險ヲ創定スルニ必要ガアルノデアリマス、勿論株式會社ニ於テ、二三ノ會社ガ森林保險ヲヤテ居リマスケレドモ、是ニハ制限ガアリマシテ、率ガ非常ニ高クテ、殆ド有名無實デアアルノデアリマス、隨テ政府ト致シテ森林保險ヲ創定サレマシテ、擔保物ヲ確實ニシテ、サウシテ長期ニ互ル所ノ低利資金ヲトシ、山林方面ニ御貸シニナルト云フコトガ、今日林業者ヲ救フ上ニ於テ最モ必要ナル遺方ト思フノデアリマス(拍手)斯ノ如ク山林保險ヲ創定シ、更ニ進デ林道ヲ開鑿サレ、更ニ運搬設備ヲ整備サレ、更ニ造林助成法ヲ講セラレテ、此合理ノ林業政策ニ依テ今日ノ窮狀ヲ御救ヒニナルト云フコトガ、最モ必要デアラウト思フノデアリマス、吾々ハ保護關稅ニ依ルヨリモ、先ヅ政府當局ニ向テ、統一セル所ノ林業政策ヲ確立セラレシコトヲ望ンデ已マザル者デアリマス、以上私ハ大體本論ヲ申述ベタノデアリマス、少シク本質ノ欠缺ヲ指摘致シテ見タイト思フノデアリマス、此問題ハ國民ノ生活ニ非常ニ影響スル問題デアリマス、甚ダ御迷惑デアリマスケレドモ、暫クノ間御清聴ノ榮ヲ得タイト思ヒマス、第一ハ木材關稅ノ引上ニ依テ...

〔此時發言スル者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 森保君靜肅ニ願ヒマス

多數ノ從業員ヲ救済スルコトニナルカラ、  
社會政策ト合致スルコトヲ政府ハ説  
明サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ今日  
林業者ノ數ガ何ボアルカト申セバ、四百六  
十一万二千八百八十二人アリマス、此四百六  
十一万餘人ノ中デ小林業者ガ何ボアルカト  
申セバ、四百三十五万二千五百八十二人、殆  
ド林業者ノ中デ九十四パーセント三十七  
マデガ小サナ林業者、其林業者ハドウデア  
ルカト申セバ、平均スルト僅ニ九段二歩シ  
カ持テ居ラヌノデアリマス、一町以下ノ林  
業者ガ持テ居ル、一町以下ノ林業者ガ九四・三七  
「パーセント」ノ山林ヲ持テ居ル、然ルニ大  
林業者ハ何ボアルカト言ヘバ、數ニ於テ僅  
ニ一万四千六百七十七人デアリマス(簡單簡  
單ト呼ブ者アリ)ソレ等ノ人ハ平均シテ百  
五十一町五十三ヲ持テ居ル、即チ林業者ハ  
四百六十一万人以上モアリマスルケレド  
モ、其中ノ大部分、九割五分——九割五分  
モ一町以下ノ山林ノ所有者デアラ、大山林  
ノ所有者ハ一万四千六百七十七人デアルノ  
アリマス、而モ此小サナ林業者ハ雜林カ若  
クハ幼稚林ヲ持テ居ルノデアリ、隨テ是等  
ノ人ニ對シマシテ、假令木材關稅ヲ引上ゲ  
マシテモ、此大多數ノ小林業者ヲ益スルコ  
トナクシテ、僅ニ一万四千六百七十七人ノ大  
林業者ヲ益スルコトニ相成ルノデアリマ  
ス、決シテ是ハ社會政策ノ見地ニ合致ヲ致  
シテ居ラヌノデアリマス、更ニ私ハ申上ゲ  
タイノハ、今回ノ木材關稅ノ引上ニ依リマ  
シテ、我が海運界ニ相當ナ影響ガアラウト  
思フノデアリマス、政府當局ノ說明ニ依リ  
マスト云フト、木材關稅ノ改正ニ依リマシ  
テ二割五分減ルト稱シテ居ル、今日我國ノ  
海運業ハ非常ニ不況デアリマスルケレド  
モ、漸ク其餘喘ヲ保テ得ル所以ノモノハ、  
全ク此太平洋ニ於キマシテ大型船八艘ガ、  
此木材ノ運搬ニ從事シテ居リマスルカラ、  
今日ノ餘喘ヲ保テ得ルコトガ出來ルノデア  
リマス、而シテ一億圓ノ價格ノ輸入材ノ中  
デ運賃ハ約四割ヲ占メテ居ル格、四千万  
圓ガ此木材ヲ運ブ運賃デアアル、其中デ日本  
ノ船舶運送シテ居リマスモノハ何ボアルカ  
ト申セバ、十分ノ六デアリマスルカラ、二  
千五百萬圓程運賃ヲ取テ居ルノデアリマ  
ス、此二千五百萬圓ガ二割五分減ルト云フ  
コトニナリマスト云フト、六、七百萬圓我  
ガ船舶ノ得ル所ノ運賃ガ減少スルコトニナ

リマシテ、ソレガ々國際貸借ノ上ニ惡イ影  
響ガ來ルノデアリマス、斯ノ如ク木材關稅  
ノ引上ハ、我が海運業ニモ相當ノ影響ヲ及  
ボスモノデアリマス、ノミナラズ今回ノ木  
材關稅ノ引上ハ、外交ノ方面ニモ相當ナ影  
響ガアルノデナカラウカト云フコトヲ心配  
致シテ居ル者デアリマス、今日ノ東洋並亞米  
利加ノ關稅政策ヲ見マス、今日ノ東洋並亞米  
アレバ——機會ガアレバ保護政策ヲヤラウ  
ト致シテ居ル、現ニ佛領印度ニ於キマシテ  
モ、先般聲明致シタ如ク保護關稅ヲ課セル  
ト云フコトニ致シテ居ル、又支那ノ如キモ  
機會ガアレバ保護關稅ヲヤラウト致シテ居  
ル、ノミナラズ亞米利加ニ於キマシテハ、  
先日モ申上ゲタ如ク、千九百二十二年ノ九  
月ニ於キマシテ、新關稅法ヲ發布ヲ致シタ  
際ニ、或ル國ガ亞米利加ノ商業ニ對シテ直  
接、間接差別ノ待遇ヲ加フル時ニ於テハ、  
亞米利加政府ハ其國ノ產物ニ對シテ、亞米  
利加大統領ハ布告ヲ發布致シテ、サウ致シ  
テ從價五割若クハ其範圍内ニ於ケル所ノ新  
稅 及附加稅ヲ課セルト云フコトヲ聲明致  
シテ居ルノデアリマスルガ、今日之ヲ對岸  
ノ火災視スル譯ニハ參ラヌト思フノデアリ  
マス、何トナレバ此木材、米材ノ產出致シ  
テ居リマスル方面ハ、多年我國ト——所講  
排日運動ヲヤラテ、國交上非常ニ惡イ所ノ  
思想ヲ懷イテ居リマスル所ノ人ノ住ンデ  
居ル方面デアアルノデアリマス、此方面ニ生  
ズル生産物ノ木材ニ對シテ重稅ヲ課セルト  
云フコトニナリマスト云フト、勢ヒ是等ノ  
地方ノ人心ヲ刺戟スルコト云フコトニ相成ル  
ノデアリマス、現ニ先年木材關稅ノ引上ヲ  
ヤラウト致シタコトガ亞米利加ニ傳ハリマ  
スルヤ、太平洋沿岸ニ於キマスル所ノ、此  
亞米利加ノ木材輸出ニ關係ヲ致シテ居ル者  
ガ一團トナテ、サウシテ對策ヲ講ジマシ  
テ、排日運動ノ巨頭デアアル「ジョンソン」ヲ  
勸カシマシテ、華盛頓ニ於テ非常ニ長イ所  
ノ聲明書ヲ發表致シタ、其聲明書ヲ直ニ日  
本ニ電報ヲ打リテ來マシタガ、直ニ國交上非  
常ニ問題ガ起リ掛ケタト云フコトハ、皆様  
ノ御記憶ニ新ナ所デアアラウト思ヒマス、  
斯様ニ非常ニ是等太平洋沿岸ノ木材輸出ニ  
從事致シテ居ル者ハ、日本ノ木材ノ此保護  
關稅ニ對シテ神經ヲ惱マシテ居ルノデアリ  
マスカラ、決シテ此復讐關稅ト申シマスル  
モノハ、對岸ノ火災視スル譯ニハ參ラヌト  
思フノデアリマス、ノミナラズ機會ガアレ

バ亞米利加ニ於テハ、日本人ノ漁業權、所  
有權ニ向テモ、何カ問題ヲ起サウトシテ居  
ル際デアリマスルカラ、今日此亞米利加ノ木  
材關稅ヲ引上ゲタルト云フコトニ付テハ、政  
府ハ非常ニ慎重ナル態度ヲ執ルノ必要ガア  
ラウト思フノデアリマス、斯ノ如ク外交ノ  
上ニ於テモ、吾々ハ將來ヲ憂慮致シテ居ル  
ノミナラズ、輸出ニ於キマシテモ、今日原  
料材ヲ高ク致シマスルカラ、日本カ一箇年  
二千五百萬圓程海外ニ出テ居リマスガ、其輸  
出ノ上ニ於キマシテモ、多大ノ影響ヲ及ス  
デアラウト思フノデアリマス、以上ハ輸出買  
易ノ點ニ付テ申上ゲタノデアリマスガ、先  
日モ三土大藏大臣ハ、國際貸借ノ上カラ言  
テモ輸入ガ減レバ洵ニ結構デハナイカ、斯  
様ナ事ヲ申サレテ居リマスルケレドモ、關稅  
政策ト云フモノハ、一ツノ品物ノ輸入ガ多  
イカ少イカニ依テ、其良否ヲ判斷スルコト  
ハ出來ナイノデアリマス、今日ノ如ク木材  
ガ上リマシテモ、他ノ物價モ上リマシテ來  
ルト、輸出買易全體ノ上ニモ影響ヲ及スル  
デアリマシテモ、茲ニ二千万圓位ノ輸入ガ減  
リマシテモ、他ニ惡影響ガ非常ニ多イノデ  
アリマス、隨テ此間申サレタ三土サンノ御  
議論ト云フモノハ、其意味ニ於テ吾々ハ承  
服スルコトガ出來ナイノデアリマス、更ニ  
今申上ゲタ如ク一般ノ物價ガ上ル、今日金  
解禁ヲ爲スト云フコトガ必要デアリマスル  
際ニ、木材ノ價格ヲ上ゲラレテ、國民生活  
ノ必需品ト上ゲラレタナラバ、他ノ物價ニ  
モ相當影響ヲ致シテ、物價モ亦上ル虞ガア  
ルノデアリマス、斯様ナ事ハ金解禁ヲ斷行  
サル上ニ於キマシテモ、私ハ相當ノ支障  
ヲ來スモノト認メテ居ル者デアリマス、更  
ニ私ハ一言最後ニ申上ゲマスルガ、政友會  
ノ諸君並ニ政府當局ハ、民政黨ノ者ガ分ラ  
ヌ反對スルコト云フコトハ、モハ決意ニナ  
テ居ル、又屢、議會ニ建議案ヲ出シテ、是ガ  
通過ヲ致シテ居ルノデアリ、然ルニ今日反  
對サレルト云フコトハ理窟ガ立タヌト云フ  
コトヲ申シテ居ラレマスルケレドモ、吾々  
ハ衆議院議員ト致シマシテ、關稅調查委員  
會ノ決議ニ何等ノ建縛ヲ受ケル義務ハナイ  
ノデアリマス、又建議案ガ今日通過ヲ致シ  
テ居リマシテモ、議會ニ於テ：  
(此時發言スル者多シ)

○副議長(清瀨一郎君) 靜肅ニ願ヒマ  
ス——靜肅ニ願ヒマス  
○前田房之助君(續) 縱令議會ニ建議案ガ  
出テ、ソレガ通過ヲ致シテ居リマシテモ、  
制定サレタ法律デモ時勢ノ推移ニ從テハ  
改廢ヲシナケレバナラヌ必要モアルノデア  
リマシテ、過去ニ於ケル所ノ建議案ナルモ  
ノニ對シテハ、吾々ハ束縛ヲ受ケル必要ガ  
ナイト云フコトヲ茲ニ申上ゲタイノハ：  
(此時發言スル者多シ)  
○副議長(清瀨一郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○前田房之助君(續) 新黨俱樂部カラ只今  
委員長報告ノ如キ希望決議ガ出タノデア  
ル、其希望決議ナルモノハ木材ノ關稅改正  
ニ限テハ、其細目ニ涉テ之ヲ見ルト不均  
衡ノ點ガ少クナイ、故ニ政府ハ調査致シテ  
次期議會ニ適當ナル案ヲ出セヨト云フ附帶  
決議ガ通過ヲ致シテ、政友會ノ諸君モ之  
贊成ヲサレタノデアリマス、此附帶決議ノ  
意味ナルモノハ、本案ガ杜撰デアアル、不完  
全デアルト云フコトヲ決議ノ上ニ立證シタ  
モノト申サケレバナラヌノデアリマス  
(拍手) 政府自ら不完全デアアル、不均衡デア  
ルト云フコトヲ認メナガラ、本案ノ通過ヲ  
圖ラレト云フコトハ、全ク國民ニ對シテ  
私ハ不忠實ノ話デアラウト思フノデアリマ  
ス(拍手) 自ら不均衡デアルト認ムルナラ  
バ、何ガ故ニ一時之ヲ撤回致シテ、完全ナ  
ル案ヲ次期議會ニ御出シニ相成ラヌノデア  
リマスガ、斯ノ如ク委員會ニ於テ不均衡デ  
アルト云フ決議ヲサレテ置キナガラ、本案  
ノ成立ヲ期セラレル所以ノモノハ、斯様ニ  
無理ヲセラレル所以ノモノハ、私ハ是等本  
案ノ提出ヲナサレタ動機ハ、山林ヲ保護スル  
ニ非ズシテ、兩稅委員ノ爲ニ財源ヲ捻出ス  
ル必要カラ御出シニナタモノト思フノデア  
リマス(拍手) 現ニ今回追加豫算ト致シマ  
シテ千六、七百萬圓ノ金ガ要ル、ソレガ此案ガ  
成立スルカ、セウカ分リマセヌカラ、追加豫  
算六七百萬圓ヲ出スコトガ出來ナイト云フ  
狀態ニ置カレテ居ルデアハリマセヌカ(拍  
手) 此點カラ考ヘマスト云フト、委員會ニ  
於テ不均衡杜撰ナルモノト決議ヲ附セラ  
レタニ拘ラズ、尙且ツ本案ノ通過ヲ圖ラレ  
ル所以ノモノハ、全ク森林保護ノ目的デナ  
クシテ、兩稅委員ノ財源ヲ捻出スルガ爲ニ  
御出シニナタモノト吾々ハ認メザルヲ得  
ナイノデアリマス、左様ナ不純ノ動機カラ

御出シニナッテ、庶民階級ニ非常ニ迷惑ヲ掛ケ、庶民階級ノ負擔ヲ加重スルガ如キ、社會政策ニ反スル所ノ惡影響ガアル所ノ本案ニ對シテハ、吾々ハ反對スルト同時ニ木材關稅ニ關シテハ、吾々ノ部分ヲ削減致シタイト思フノデアリマス、同時ニ此朝鮮ノ特例ニ關シマスル分ハ、此木材關稅ヲ改正サル、ト云フコトヲ前提ト致シテ御出シニナッテ居リマスルカラ、ソレニ關聯ヲ致シテ居リマスル部分ダケヲ削減致シタイト思フノデアリマス、願クハ修正案ニ對シマシコトヲ冀フ次第デアリマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 是ヨリ討論ニ入りマス、此討論ハ便宜、委員長報告賛成倒ヨリ之ヲ許シマス——岩本武助君

〔岩本武助君登壇〕

○岩本武助君 私ハ本案ニ對シ賛成ノ意見ヲ有シテ居リマス、又只今民政黨ヨリ提出サレマシタ修正案ニ付テハ、反對ヲ致ス者デアリマス(拍手)諸君モ御承知ノ如ク、先ヅ此木材關稅案ヲ論議致シマスルニハ、我國ノ森林ガ如何ナル状態ニアルカト云フコトヲ先ヅ斷定致シマシテ、サウシテ、此木材定率案ガ必要デアるか否ヤト云フコトニ進ムコトガ必要デアルト信ズルノデアリマス(拍手)何レノ國ニ於キマシテモ、其國ノ森林ト云フモノハ國土ノ保全、水源涵養、或ハ國民保健ノ上ニ於キマシテ最も肝要ナルコトハ、申上ゲル迄モアリマセヌ、我國ノ如キハ面積ノ六割以上ハ森林デアリマスルカラ、此意味カラ申シマシテモ、我國ノ森林ハ最も大切ナルモノデアルト思フノデアリマス(拍手)然レニ近來此我國ノ山林ガ年々濫伐ヲ致サレマシテ、段々荒廢ニ傾キツ、アルコトハ明ナル事實デアリマス(拍手)此山林ノ荒廢致シマスルコトハ種々ノ原因モアリマスルケレドモ、此第一ノ原因ハ、目下我國ニ無制限ニ輸入サレツ、アリマスル所ノ外國材ガ大ナル影響ヲ及ボシテ居ルノデアリマス(拍手)諸君モ御承知ノ如ク、大正九年ニ木材關稅ノ大部分ガ廢止サレマシタ共ニ、偶、世界第一ノ伐木中心ガ我國ノ對岸北太平洋沿岸ニ現レマシテ、而モ一錢モ造林費ヲ費シテナイ大森林、其上ニ木材ノ運賃等ニ付テモ最も便利ナル海岸ニ密接致シテ居リマスルカラ、亞米利加ノ此伐木事業ト云フモノハ、此處ニ集リマ

シテ空前ノ大生産ヲ現シ、安イ木材ヲ無制限ニ我國ニ輸入サレマシテ、今日ハ如何ナル山間僻地ト雖モ此亞米利加材ヲ見ナイ處ガナイヤウニ相成リマシタデアリマス(拍手)是ガ爲ニ内地木材ノ山元價格ガ非常ニ下落致シマシテ、大正六七年ノ好況時代ニ較ベマスルト、其材價ガ半額以下ニ大下落ヲ來シタノデアリマス、ノミナラズ又一面ニ於キマシテ、此外材輸入商人ガ種々ノ思惑等ニ依リマシテ、木材ノ價格ガ非常ニ低落致シマシテ、其上ニ相場ノ變動ガ非常ニ甚シク相成リマシタカラ、數百年來我が林業家ガ苦心慘澹ヲ致シマシタ森林モ、其場所ト樹齡ニ依リマシテハ殆ド無價値ノ物ニ相成リタノデアリマス、ソレ故ニ我が山村今日ノ疲弊困憊ハ其極ニ達シマシテ、動トモ致シマスレバ自暴自棄ニ陥リ、父祖傳來ノ山林ヲ所謂食ハンガ爲ニ濫伐ヲ爲スノ已ム得ザルニ立到リタノデアリマス、而モ此伐木ハ收支相償ヒマセヌカラ、造林ヲ怠リ、間伐又ハ其他ノ必要ナル手入ヲ中止スルト云フ状態ニ立到リタノデアリマス、而シテ此疲弊セル山村ノ經濟状態ヲ救濟致シマスニハ、ドウ致シマシテモ先ヅ第一ニ木材關稅ノ引上ヲ要スルノデアリマス、ト共ニ又内地ノ森林ノ助成政策ヲ探ルト云フコトガ、是ト相俟テ必要ナルコトニ相成ルノデアリマス、今同此木材關稅ヲ引上ゲルト共ニ、一面又政府ハ内地山林ノ助成政策ヲ行フ上ニ於キマシテ、本年度ノ事業費ヲ致シマシテ約七百二十萬圓ノ新規事業ヲ計上致シタコトハ、是ハ我國ノ林業界ヲ救濟スルニ、稍、人意ヲ強クスルト思フノデアリマス(拍手)然レニ民政黨ノ諸君ガ今回ノ關稅引上ニ依ル増收ノ六百五十萬圓ハ兩稅委讓ノ財源デアルトカ、若クハ追加豫算ハ是ガ通過シナケレバ出セナイノデアリマス云フヤウナ御議論ハ、誣ユルノ甚シキモノト信ズルノデアリマス、前刻モ申シマシタ通り今回ノ木材關稅引上案ハ、我が山村ノ疲弊ヲ救濟致シマス上ニ最も緊急ヲ要スルモノト認メマスル第一ノ理由ト致シマシテ、外材ガ如何ナル状態ニ依リテ輸入サレ居ルカト云フコトヲ、先ヅ簡單ニ申述ベテ見ナケレバナリマセヌ、即チ此亞米利加材ハ大正八年迄ハ輸入總計ガ年々二、三十萬石デアリマシタガ、大正九年ニナッテ九六、角材、割材ガ無稅トナリマシタ結果、同年ハ一躍八千萬石

價額千六百萬圓ニ達シ、以來累進的ニ増加致シマシテ、大正十三年ニハ千八百萬石、價額一億二千萬圓、昭和元年ニハ千九百萬石、價額九千六百萬圓、昭和二年上半年期ニハ五百十萬石、價額四千萬圓ト云フヤウナ狀況ヲ呈シテ居ルノデアリマス、此恐ルベキ壓倒的ノ外材ノ輸入ニ依リマシテ、年々我國ノ正貨ヲ一億圓内外失ヒツ、アリマスコトハ非常ニ大問題デアリマス、ト申シマスノハ、此一億圓ノ木材ハ例ヘバ棉花ヲ輸入シテ、之ヲ織物ニシテ外國ニ輸出スルトカ、或ハ機械ヲ輸入シマシテ、之ヲ依テ種々ノ工業的ノ物品ヲ作シテ、之ヲ輸出スルトカ云フ風ナモノデナクシテ、唯間接的ニハ國民ノ生活ニ利益ガアルカハ分リマセヌガ、結局年々一億圓以上輸入致シマス木材ハ、其シマヒハ腐敗致シマスカ、若クハ消失スルヨリ外何ニモナイノデアリマス、ソレ德斯ノ如ク木材ノ無制限ノ輸入ノ爲ニ、段々我が國幣貸借ノ不良ニナル一原因ヲ成シマスコトハ、是ハ爭フコトノ出來ナイ事實デアリマス、然レニ反對論者ハ此關稅引上ニ依リテ内地材ガ値上リスルベシ、我國ノ山林ハ濫伐サレドモ、本當ノ山村ニ於キマス林業者ト云フモノハ、年々輪伐トカ皆伐、若クハ間伐ニ依リマシテ、造林補植ヲ爲シ、ソノ生計ヲ立テ、居ルノデアリマスカラ、山元相場ガ今日ノ如ク暴落シテコソ濫伐ハ致シマスケレドモ、相當ニ採算ノ取レルヤウニナリマシタ以上ハ、其伐採シタル跡ヲ其儘放任セナイト云フコトハ、即チ我ガ山村ノ美風デアリト謂ハナケレバ、即チ我ガ山村ノ美風(拍手)又大正六、七年ノ財界ノ好況時代ニ於キマシテ、伐採面積ヨリ造林面積ガ少イカラ、即チソレハ濫伐ノ證據ト申ス人ガアリマスケレドモ、是ハ所謂林業ニ經驗ノナイ方ノ言フコトデ、即チ植林ノ實際ト申シマスモノハ三箇年經テマシテ初メテ山ガ出來ルノデアリマス、故ニ大正九年后ニ於キマシテ我國ノ木材界ノ相場ハ非常ニ下落加致シマシタケレドモ、其造林ノ面積ノ増加致シテ居リマスコトハ、即チ價格ガ少し上リテ向ホ之ニ對シテ補償ヲスルノ餘力ガアルト云フコトヲ、此表ガ示シテ居ルノデアリマスカラ、木材ガ相當上リマスケレバ必ズ眞面目ナル林業家ハ造林補植ヲ爲スコトハ火ヲ賭ルヨリ明ナ事實デアリマス、又關

稅引上ヲ止メテ第一ニ山林ノ助成政策ヲ行ヘト云フ議論モアリマスケレドモ、是モ前申上ゲタ通りノ理由ニ依テ、今日我國ノ山林ノ状態カラ申シマスナラバ、今年一年關稅ノ引上ヲ行ハナケレバ、我國ノ山林ノ増殖ノ後レルコトハ、即チ三年後レルト云フ理由ニ相成ルノデアリマス、又反對論者ハ木材關稅ノ引上ハ國民生活ヲ脅威スルモノト云フ議論ヲサレマスガ、是ハ即チ家賃ノ騰貴デアラウト思ヒマス、併ナガ家賃ノ騰貴ガアリマセヌ、必シモ木材ノ原料ト何關係ガアリマセヌ、即チ木材ハ總建築費ノ十分ノ三シカアリマセヌガ、若シモ今回ノ増率ガ約一割ト致シマスナラバ、即チ建築費ニ及ボシマスモノハ木材十分ノ三ニ對シマスル百分ノ一シカ上ラナイノデアリマス、故ニ之ヲ以テ國民ノ負擔過重デアルト云フコトハ、論議スルノ根柢ガナイト思フノデアリマス(拍手)又此關稅引上ハ我が少數ノ山林家ヲ益スルモノデアラウテ、社會政策ニハ反スルモノデアルト云フ御議論モアリマス、併シテ現在我國ノ山林ノ所有者ヲ調べテ見マスルト、前刻前田君ガ表サレマシタケレドモ、是ハ不幸ニシテ私ノ調査致シマシタ表ト相反シマスルガ、政府ノ表ニ依テ見マスレバ、山林五反未滿五町步マデノ所有者數ガ四百三十五萬戸デアリマス、前田君ハ之ヲ「人」ト言フテ居リマス、又五町步以上五十町步ノ所有者ハ二十四萬五千戸デアリマス(拍手)五十町步以上三百町步ノ山林家ハ僅ニ二萬四千戸デアリマス、故ニ概計致シマシテ四百六十萬戸デアリマス、此統計ニ依テ見マスレバ、決シテ少數ナル者ノ利得デアリマセヌ、一戸平均三人ト計算致シマシテモ、約一千五百萬人、之ニ造林、製材等ニ從事致シマスル勞働者五百五十萬人ヲ加ヘマスルナレバ、一千六百萬ノ國民ヲ救濟シ、一面ニ於テハ國家百年ノ大計ヲ確立スル立派ノ社會問題ヲ解決スルノデアリマスケレバ、此意味ニ於テ此事ニ反對スル諸君ハ、即チ反對セシマシテ、反對デアリマス(拍手)又前田君ハ歐羅巴大戰當時ニ非常ニ山林家ガ恩恵ヲシテ、サウシテ其跡ガ今ニナッテ今ト云フ御議論デアリマスケレドモ、成程歐羅巴戰爭ノ時ニ於テハ、所謂我國ノ眞ノ森林業家ト云フ者ニアラズシテ、他ノ人ガ資力ノ餘分ヲ以テ、山ガ値ガ高

イカラト云フヤウナ漫然タル考デ、山林ノ賣買ガ行ハレマシタケレドモ、眞面目ナ林業家ハ決シテ斯様ナ事ハ致シテ居ラヌコトハ、事實デアリマス(拍手)又我國ノ國有林ノ伐採ガ亞米利加ノ材木ノ輸入ヨリモ其量ガ多イカラ、詰リ國家自ラガ今日ノ材木價ヲ崩シテ居ルト云フ御議論デアリマスシタケレドモ、是モ當ラザルモノデアリマスモ、申シマス、是モ國有林ノ致シマシテモ、民有林ニ致シマシテモ、悉ク是ハ我が國家ノ山林デアリマス、併ナガラ唯茲ニ所謂此關稅ノ引上ヲ要スルコトハ、同ジ木材デモ亞米利加カラ入りマスルモノハ、山林ノアリマスル地帯ノ關係カラ言ヒマシテモ、運材ノ關係カラ言ヒマシテモ、我が内地材ニ比シテ廉ク入ル爲ニ、此國有林ニ限ラズ、民有林モ同ジク此安イ材價ノ爲ニ押サレテ行クノデアリマス、國家トシテモ相當ナ輪伐計畫ヲ樹テ、居リマス以上ハ、之ニ對シテ一定ノ收入ヲ計算致シテ居リマス、此上カラ言ウテモ多少木材ノ伐出ノ増加致スト云フコトハ致方ノナイコトデアリマスカラ、今回此來材ノ關稅引上ニ依テ、亞米利加材ノ輸入ヲ制限致シマスルナラバ、此我が國有林ノ伐出ト云フコトニ付テモ、多大ノ效果ガアルト信ズルノデアリマス(拍手)又林業家ノ疲弊ハ山林ノ荒廢デナクシテ、金融ノ途ヲ絶シタカラデアルト云フ御議論モアリマシタケレドモ、是モ成程今日私共ノ要望致シテ居リマスル山林火災制度ノ實現致シテ居リマセヌ今日ハ、徹底的ニハ此金融ノ實際行ハレルト云フコトハ望マレマセケレドモ、今此林業地帯ニ於キマスル所ノ銀行、殊ニ農工銀行ノ如キ、勸業銀行ノ如キハ、相當ニ山林ニ對シテハ又相當ノ貸出ヲ致シテ居リマスルカラ、金融ノ杜絶シテ居ルト云フコトモ亦ハ否認ヲシナケレバナラナイノデアリマス(拍手)又今回ノ木材關稅引上ハ、國家ノ上ニ於テ外國ノ關係ニ於テ、惡影響ガアルト云フ御議論デアリマスケレドモ、併ナガラ是ハ木材ニ限ラズ、各種ノ物品ガ各國各、相當ノ輸入品ニ對シテハ課稅ヲ爲シテ居ルノデアリマセ、故ニ吾々ハ今日徒ニ外觀ノミヲ論ジテ居リマシタナラバ、此國家ニ最モ大問題ヲ惹起スノデアリマス、故ニ今回ノ如キ正當ナル引上率ハ絕對ニ贊成シナケレバナラヌ

ノデアリマス(拍手)又新黨俱樂部ノ岸本君カラ此案ニ付テ希望條件ノ決議ノコトヲ申サレタノデアリマスルガ、此案ハ前田君ガ此希望附帶決議ガアル以上ハ、此原案ニ何カ故障ノアルモノデアルト云フ御議論モアリマシタケレドモ、是ハ先年關稅ノ改正ヲ行ク時ニモ、斯ウ云フ附帶決議案ガ附イタ例モアリマス、ノミナラズ何事デモ各種ノ色ナ木材ノ種類ヲ取扱ハマスルハ此關稅率デアリマスルカラ、神ナラヌ以上ハ必シクモ完全無缺ナリト言ヒ得ナイト思ヒマスルケレドモ、今日之ヲ實行スルニ於テハ、先ヅ吾等ハ完全ナルモノト認メテ贊成ヲ致スノデアリマス(拍手)故ニ此新黨俱樂部カラ出サレマシタ附帶決議案ニ於テモ、其意味ニ於テ贊成ヲ表シテ置クノデアリマス、デ要シマスルニ、今日我山村ノ此儘ノ狀態ニ據置キマシタナラバ、如何ナル慘澹タル結果ヲ來スカ、洵ニ前途憂心ニ堪ヘナイノデアリマス、即チ我國ノ正貨ニ年々一億圓以上惡米利加ニ取ラレ、國民ノ國土面積ノ六割以上ヲ占メマスル山村ノ人々ハ、祖先傳來ノ家業ヲ棄テ、他ニ職業ヲ求メテ、全部都會ヘ都集ルベキモノハ即チ森林ノ荒廢デアリマス、森林ノ荒廢ハ即チ木材生産ノ不能ヲ來タスノデアリマス、又一面カラ考ヘテ見マスルト、山林ガ荒廢致シマスルナラバ其土砂ノ流出ニ依リマシテ、水害ガ各地ニ頻發致シ、又一面ニハ水源ガ枯竭致シマシテ、農地ノ灌溉、水力發電、都市水道ノ給水等ニ大ナル支障ヲ來シマスルコトハ、是ハ火ヲ暗ルヨリモ明ナル所デアリマス、今日我國ノ工業ノ中樞トモ見ルベキ電氣ハ、現在三百四十萬餘基デアリマスガ、其中水力電氣ガ二百十萬餘基デアリマシテ、又國家ガ年々治水費トシテ出シテ居リマスルモノハ二千萬圓以上ヲ算シ、之ニ各府縣ノ治水費ヲ加算致シマスレバ、莫大ナル金額トナルノデアリマス、併ナガラ將來我國ノ森林政策ヲ確立致シマシテ、適當ナル此林業家ノ指導救済ヲ爲サナカッタラバ、年々ノ治水費ノ如キ、恰モ破レタ所ニ一寸膏藥ヲ貼ルト云フコトニ相成ルノデアリマス、此大切ナル國土保安ノ完成ハ、引リマシテモ今回ノ先ヅ第一ニ木材關稅ノ引上ヲ實行スルト云フコトヲシナケレバ、此大切ノ問題ノ完成ハ望メナイト思ヒマス、

願クハ諸君、此國土ノ保存ノ大問題ヲ解決シマスル上カラ言ヒマシテ、本案ニ御贊成アラント云フ御願シテ此壇ヲ降ルノデアリマス

○副議長(清瀨一郎君) 太田信治郎君(太田信治郎君登壇)

(議長、議事ノ進行ニ就テ)ト呼フ者

○副議長(清瀨一郎君) 太田君ニ許シマシタ

○太田信治郎君 我ハ木材關稅ニ關シテ極メテ簡單ニ一言申述メタイト存ジマス、森林事業ガ不振ノ爲ニ困難ノ狀態ニ在ル、是ガ救済方法ヲ講ズルト云フコトハ、國策トシテ最モ必要ナリト信ズル者デアリマス、故ニ森林事業保護獎勵ニ對シテ相當ノ方法ヲ講ズルト云フコトハ、私ハ雙手ヲ舉ゲテ贊成スル者デアリマス、併ナガラ木材關稅ノ引上ニ依テ、森林事業ノ振興ヲ來スベキモノト斷ズルコトハ、失當デアラト思フノデアリマス、森林事業ノ保護ノ目的ヲ以テ關稅ヲ引上ゲルト致シマスレバ、ソレニ伴フ各種ノ施設ヲ必要トスルノデアリマス、關稅ノ引上ノミニ依テ、多少需要家ニ於テ値段ガ騰貴シテ迷惑ヲ致シマセウトモ、ソレハ將來ニ於テ對策ヲ講ジテ、將來得ル所ノ利益ガ今失フ所ノ損失ヨリハ、國家ノ爲ニ利益ナリト信ズル場合ニハ、之ヲ斷行スルコトニ躊躇ヲ致ス者デアリマセヌ、併ナガラ森林政策ニ關シマシテ相當ノ政策ヲ確立ヲ期スルコトハ勿論デアリマス、先ヅ第一ニ帝國内ノ森林ノ事業ニ關シ、統一シタル機關ヲ設ケテ、是ガ統一シタル政策ノ下ニ政策ヲ行フト云フコトハ、私ハ目下ノ急務中ノ急務ト思ヒテ居リマス、又林業金融ノ途ガ甚ダ寡小デアリマス、付テハ金融ノ利便ヲ利便シテ居ルノデアリマス、是ガ森林業者ヲ救済スル上ニ於テ最モ必要ナル金融ノ利便ヲ與ヘルノ一ツデアリマス、更ニ材木ノ値ガ上ルト、山ノ餘計伐レトカ、或ハ値ガ下ルト山ノ伐レトカ云フ諸ガ出マシタガ、是ハ何レモ當リマセヌ、材木ノ需要ガ起ラナケレバ林業ハ起ラナイノデアリマス、林業ノ起ルノ需要ヲ供給ト相俟タナケレバナラヌ、若シ需要ガ起ラナイニ拘ラズ、森林ヲ伐採致シマシタナラバ、其荷

物ハ堆積シテ却チ林業家ノ損ト云フコトニ相成ルノデアリマス、ソレガ爲ニハ寧ろ生産費ヲ引下ゲテ需要ノ大ニ振興スルト云フ策ヲ講ジナケレバナラヌ、申ス迄モナク材木ニ代ルベキ代用品ガ幾ラモアリマス、若シ材木ノ價格ガ單リ上リマシタナラバ、其代用品ノ壓倒サレト云フコトハ申ス迄モナイノデアリマス、之ヲ要スルニ一例ヲ申シテ見レバ「サワラ」ノ手桶ニ代ユル「トタン」ノ「バケツ」ヲ以テシ、或ハ杉ノ板ニ代ユル「トタン」板ヲ以テ利用スルガ如キモノハ其一例デアリマス、更ニ此關稅案ノ中ニハ潤葉樹ニ關スルコトハ何モアリマセヌ、内地ニ於テ針葉樹ヲ保護スル上ニ於テ、此關稅ノ效果ガ多少アリマセウトモ、國內ニ於ケル所ノ森林ヲ扱フ森林業者トスレバ、最モ必要ナルモノハ潤葉樹デアリマス、潤葉樹ガ十四億六千萬石アルト云フノデアリマス、ソコデ針葉樹ハ七億六千萬石、然ラバ三分ノ二ヲ持テ居ル所ノ潤葉樹ニ對シテ相當ノ保護獎勵、是ガ振興ヲ期シ、是ガ販路ヲ求メルト云フコトノ施設ヲ爲サナケレバナラヌ、其他ニモ種々ナル施設ガアリマセウガ、大要以上ノ如キ最モ重要ナル問題ニ對シテ、何等ノ方法ヲ講ジテナイノデアリマス、之ヲ政府ニ質シマスルト、政府ノ言フニハ、何レモ考慮中デアラト云フ旨ヲ申サレマシタガ、何等積極的ニ之ニ對スル方法ヲ確立シテ居ラナイト云フコトハ明デアリマス、左様ニ致シマス、一面ニ關稅ヲ引上ゲマシテモ、一面ニ於テ内地ニ於テ是等ノ森林業者保護ノ施設ガナケレバ、要スル三車ノ兩輪ノ一輪ヲ缺イタガ如キ感ジガアリマスカラ、之ヲ要スルニ此案ハ不備ナ點ガアルト云フコトハ、已ムヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ只今之ヲ暫定ニ贊成ヲ致シマスルト致シマシテモ、其内容ニ於テハ不公平ナル所アレバ、之ヲ匡正スルコトハ當然デアリマス、何處ガ不公平デアルト申シマスナラバ、此中ニ原料材ト製材トノ區別ニ付テ、其課稅ニ公平ヲ失シテ居ルノデアリマス、ソレハ何デアラカト申シマスレバ、御承知ノ通り日本原料ノ乏シイ國デアリマスカラ、海外ヨリ原料ヲ輸入シテ、ソレニ加工致シテ、之ヲ職工勞務者ノ生活ノ資料ニ致スト云フコトハ當然ノ事デアリマス、然ルニ本案ニ依リマスレバ、其職工勞務者ノ生活ノ資料トナルベキ所ノ

原料ニ限リ、重稅ガ課セラレテアル、サウシテ製材シタルモノニ比較的輕イ課稅ガ課シテアル、此所以ヲ尋ネマシタ所ガ、是ハ要スルニ昭和二年度ノ輸入總數量ニ對シテ輸入總金額ヲ以テ除シタルモノヲ以テ平均價格トシ、ソレヲ從價ト致シテ從量稅ヲ加算シタルモノデアルト云フコトデアリマス、

而シテ是ガ分類ヲ致スコトハ頗ル困難ナルコト、ナルト云フコトデアリマシタ、之ニ對シテ若シ之ヲ分類致シマセヌケレバ、高イ物ハ五十八弗、安イ物ハ八十八弗、此間開キノ四十弗モアル物ヲ平均スルト云フコトハ如何ニモ不當デアル、此點ニ付テ色色取調ベマシタル結果、其分類ヲスルノニ最モ安キ物ニ止メタラドウデアルカ、是ニ於テ吾々ハ修正案ヲ提案ヲ致シタルデアリマス、即チ此稅番ノ六百十二號、己ノ三ノ「二」政府案ノ每立方「メートル」三圓三十錢ヲ二ツニ分類ヲ致シマシテ、「二」ノ、制材每立方「メートル」五圓三十錢、「二」ノ、九材每立方「メートル」二圓二十五錢、「二」ノ、イモノ、制材ハ三角ナモノデアリマスカラ、此位ナ分類ハ何人ニ於テモ出來ルデアラウ、而モ九材ノ方ハ平均二十二弗、制材ハ平均四十六弗、斯様ニ平均率ヲ見マシテ、同ジク一割二分五厘ノ基礎ト致シマシタ所ノ從量稅ヲ課スルト致シマスレバ、以上ノ通りニ相成ルノデアリマス、左様致シマスレバ、工場ノ原料タル所謂勞働者ノ生活ノ資料トナル所ノ原料材ニ安クシテ、高級品ニ高クナルト云フコトデアリマスルカラ、聊カ此案ノ面目ヲ直シテ、公平ヲ保ツコトヲ得ルト信ジタルデアリマスレドモ、是ガ遂ニ贊成ヲ得ルコトガ少數デアリマシタ爲ニ、否決トナリマシタコトハ遺憾デアリマスレドモ、已ムヲ得マセヌ、然ラバ如何致スカト申シマスレバ、已ムヲ得マセヌ、今日斯ノ如キ不公平ナル案ヲ致シ、而モ且ツ車ノ兩輪ノ一輪ヲ缺キタルモノヲ通過致サセマスヨリハ、寧ロ前田君ノ修正提案ニ贊成ヲ表シテ、反對ヲ致シタル方ガ却テ利益ナリ、而シテ更ニ政府ハ調査ノ上デ、完全ナル提案ヲ求ムルコトガ至當ナリト信ジタ次第デアリマス、而シテ申上ゲル迄モアリマセヌガ、木材ノミナラズ總テ物品ハ高イカラ必ズ儲カル、高イカラ賣レルト云フヤウナコトニ御考ニナルコトハ、大ナル

間違デアリマス、水ノ低キニ向テ流レルガ如ク、安キ國ノ物價ガ高イ國ニ入り、物價ノ高イ國ノ金ガ安イ國ニ向テ流出スルコトハ當然ノコトデアリマス、然ラバ斯ノ如キ物價引上ニ依テ一時ノ利益ヲ圖ル政策ヲ御執リニナリマシタナラバ、何時ニテテ國際貸借ノ改善ヲ得ルコトガ出來マセウカ、又斯様ナ政策ヲ御執リニナルナラバ、益、物價ノ高キ國民ハ生活難ニ苦シムノデアリマス、寧ロ物價ハ引下ダゲテ、需要ヲ振興シテ、産業ヲ振興セシメテ、之ニ依テ初メテ國民ノ生活安定ヲ得ルノデアリマス、然ルニ政府ガ財政ノ緊縮ヲセズ、金利ノ引上ヲ爲サズ、金輸出ノ解禁ヲ爲サズ、國際貸借ノ改善ニ意ヲ用ヒズ、唯一時ヲ糊塗シテ、國民大衆ノ利益ヲ思ハズシテ、一部少數者ノ利益ヲ圖ルコトハ、私ニ於テハ決シテ國策トシテ執ルベカラザルモノデアルト信ズルノデアリマス、此關稅引上ニ依テ、既ニ新聞紙上傳ヘル所ニ依レバ秋田林産會社ハ四十萬圓ノ利益ガアルト云フコトデアリマス、斯様ナ一部者ノ利益ヲ與ヘルト云フコトハ、斷ジテ私ハ反對ヲセザルヲ得ナイノデアリマスカラ、此事ヲ申上ゲテ降壇スル次第デアリマス

○副議長(清瀨一郎君) 討論ハ之ヲ以テ終結致シマシタ、茲ニ森保祐昌君ヨリ議事進行ニ付キ發言ノ要求ガ提出サレテ居リマス、議長ハ之ヲ許サナケレバナリマセヌ——森保君 只今議場ハ定足數ヲ缺イデ居リマスカラ、之ヲ以テ散會セラレンコトヲ望ミマス  
〔「缺イテ居ナイ」「アル」「アル」ト呼ヒ其他發言スル者多シ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 議長ニ於テ計算ヲサセテ居リマス  
○森保祐昌君 只今定足數ヲ缺イテ居リマス  
〔「アル」「アル」ト呼ヒ其他發言スル者多シ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 計算中デアリマス——只今計算中デアリマス  
〔此時發言スル者多シ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 靜肅ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス——今書記官長ヲシテ正式ニ計算セシメマシタ、定足數ハアリマス(拍手)是ヨリ採決ニ入りマス、兩案ノ

中先ツ關稅定率法中改正法律案ニ付キ採決スルノデアリマス、而シテ此案ニ關スル勝君外二名提出ノ修正案ニ付キ先ツ採決ヲ致シ、亞イデ本案ノ採決ヲ致シマス、勝君外二名提出ノ修正案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス  
〔贊成者 起立〕  
○副議長(清瀨一郎君) 起立少數ト認メマス、仍テ修正案ハ否決サレマシタ、次ニ本案ノ委員長報告ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス  
〔贊成者 起立〕  
○副議長(清瀨一郎君) 起立多數(拍手)本案ハ委員長報告ノ通り可決致シマシタ、是ヨリ大正九年法律第五十三號中改正法律案ニ付キ採決スルノデアリマス、而シテ勝君外二名提出ノ修正案ニ付キ先ツ採決ヲ致シ、次ニ本案ニ付キ採決ヲ致シマス、勝君外二名提出ノ修正案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス  
〔贊成者 起立〕  
○副議長(清瀨一郎君) 起立少數ト認メマス、仍テ修正案ハ否決サレマシタ、次ニ本案ノ委員長報告ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス  
〔贊成者 起立〕  
○副議長(清瀨一郎君) 起立多數ト認メマス、仍テ修正案ハ否決サレマシタ、次ニ本案ノ委員長報告ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス  
〔贊成者 起立〕  
○原惣兵衛君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス  
〔贊成「贊成」異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(清瀨一郎君) 別ニ御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス  
關稅定率法中改正法律案 第三讀會  
大正九年法律第五十三號中改正法律案 (關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件) 第三讀會  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 別ニ御發議モアリマセヌ、兩案ノ委員長報告ニ贊成ノ諸君ハ起立  
〔贊成者 起立〕  
○副議長(清瀨一郎君) 起立多數ト認メマス

ス(拍手)仍テ兩案ハ可決確定ヲ致シマシタ  
○原惣兵衛君 會期切迫議案堆積ノ折柄デアリマスカラ、明日ハ特ニ本會ヲ開カレ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス  
〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌガ  
〔「異議ナシ」異議アリ〕ト呼フ者アリ  
○副議長(清瀨一郎君) 御異議ガアルヤウデアリマス、仍テ採決ヲ致シマス、原君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス  
〔贊成者 起立〕  
○副議長(清瀨一郎君) 起立多數ト認メマス、仍テ明日ハ定刻ヨリ本會議ヲ開キマス  
○原惣兵衛君 殘餘ノ日程ハ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス  
〔贊成「贊成」異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本日ハ是ニテ散會致シマス、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス  
午後八時一分散會

衆議院議事速記録第三十一號中正誤

頁	段	行	誤	正
七〇五	一	二三	會期切迫	會期切迫
同	四	一三	養魚地	養魚池
七〇六	三	二九	普通ノ實收	普通ノ十州鹽
七〇七	一	四	缺損	増減
同	二	一七	自給	需給
同	四	一七	眞底	眞諦